

国道 208 号

(有明海沿岸道路)

大川佐賀道路

平成 25 年 10 月 30 日

国土交通省 九州地方整備局

目 次

1. 事業の概要	道路-2- 1
(1) 有明海沿岸道路の概要及び整備効果	道路-2- 1
(2) 大川佐賀道路の概要	道路-2- 4
2. 事業の必要性	道路-2- 5
(1) 事業を巡る社会情勢等の変化	道路-2- 5
(2) 事業の効果・必要性	道路-2-11
(3) 事業の投資効果	道路-2-19
(4) 事業の進捗状況	道路-2-20
3. 事業進捗の見込み	道路-2-22
(1) 今後の事業の見通し	道路-2-22
(2) 地域の協力体制	道路-2-22
(3) 環境・景観への取り組み状況	道路-2-25
4. 事業費の変動要因	道路-2-27
5. コスト縮減や代替案立案等	道路-2-28
6. 対応方針（原案）	道路-2-28
巻末資料	道路-2-29

1. 事業の概要

(1) 有明海沿岸道路の概要及び整備効果

1) 有明海沿岸道路の概要

有明海沿岸道路は、福岡県大牟田市を起点として、みやま市、柳川市、大川市、佐賀市、小城市、白石町を經由し佐賀県鹿島市に至る延長約 55km の自動車専用道路である。

有明海沿岸道路は、地域間の連携・交流を促進、陸海空の広域交通ネットワークを形成し、並行する国道等の混雑緩和・安全性を向上する重要な幹線道路である。

◆現在の進捗状況

全体計画延長 : 約 55km

開通区間延長 (2/4) : 23.8km

事業中区間延長 : 約 46km

開通区間 (暫定 2 車線)

- : 大牟田高田道路 (三池港 IC ~ 黒崎 IC) : 8.6km
- : 高田大和バイパス (黒崎 IC ~ 徳益 IC) : 8.3km
- : 大川バイパス (柳川西 IC ~ 大川東 IC) : 2.4km
- : 佐賀福富道路 (嘉瀬南 IC ~ 芦刈 IC) : 4.5km



▲ 有明海沿岸道路の位置図



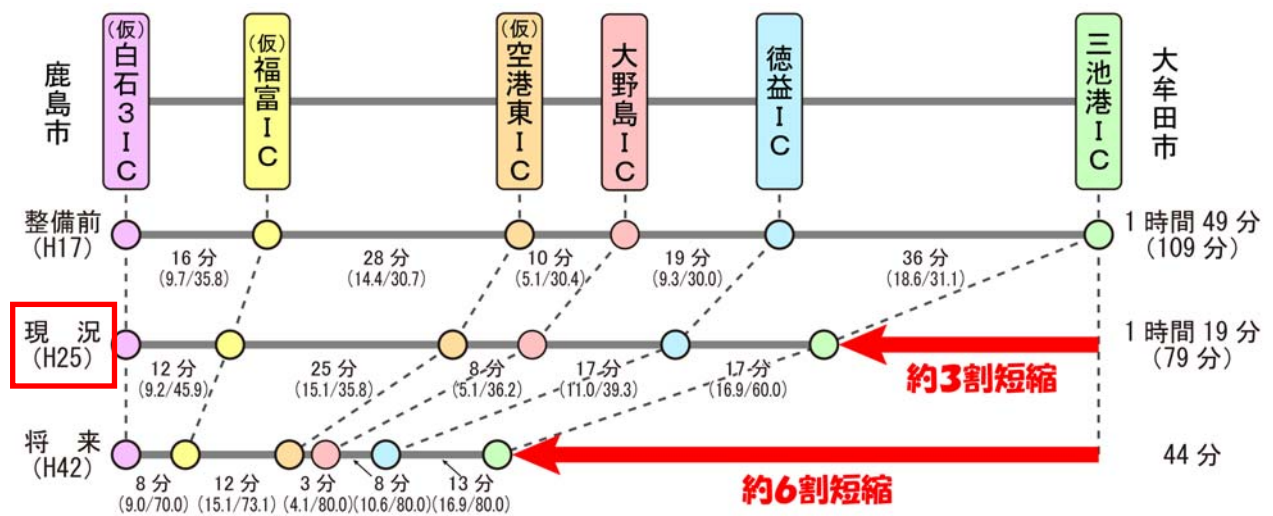
▲ 有明海沿岸道路 (全線) の概要図

2) 事業の効果・必要性

効果1：地域間の交流・連携の支援

有明海沿岸道路沿線には大牟田市、柳川市、佐賀市、鹿島市といった主要な都市が存在しており、有明海沿岸道路の三池港IC～大川中央IC間（一部一般部を活用）、嘉瀬南IC～芦刈IC間が暫定開通したことで、大牟田市から鹿島市までの所要時間が整備前の1時間49分から1時間19分へと約30分短縮（約3割短縮）した。

有明海沿岸道路の全線整備により、大牟田市から鹿島市までの所要時間は44分となり、整備前と比べ約65分短縮（約6割減）され、地域の発展の核となる都市間の連携、地域相互の交流促進が期待できるとともに交通拠点間のアクセス性が改善され、利用圏の拡大や物流の効率化が期待できる。



※有明海沿岸道路は現況：60km/h（暫定2車線）、将来（三池港IC-（仮）佐賀JCT）：80km/h（完成4車線）、将来（（仮）佐賀JCT-（仮）白石3IC）：70km/h（暫定2車線）、一般部：40km/hで所要時間を算出。その他の道路については、道路交通センサス（整備前：H17、現況・将来：H22）の混雑時旅行速度を用いて所要時間を算出。

※（ ）内左数値：延長(km)、右数値：平均速度(km/h)
※整備前(H17)はIC付近の交差点間で所要時間を算出。

資料：道路交通センサス(H17, H22)

▲ 有明海沿岸道路の整備によるIC間の所要時間の変化

効果2：広域交通ネットワークの形成

有明海沿岸道路は、沿岸8都市を高速でつなぎ、地域間の連携・交流を促進し、沿岸地域全体の経済活性化を実現する。

既存の高速道路(九州縦貫自動車道、長崎自動車道)や九州新幹線、三池港、有明佐賀空港とのアクセス性も大幅に改善し、これらが一体となって「陸海空の広域交通ネットワーク」を形成し、更なる交流圏の拡大や物流の効率化を達成する。



▲ 有明海沿岸道路の沿線地域と広域交通拠点

(2) 大川佐賀道路の概要

1) 概要

地域高規格道路「有明海沿岸道路」の一部を形成し、有明海沿岸部に位置する都市間の連携及び交流促進を支援する道路として、佐賀県内においては大川佐賀道路の整備を進めており、平成25年度は地元設計協議、用地買収を推進する予定である。

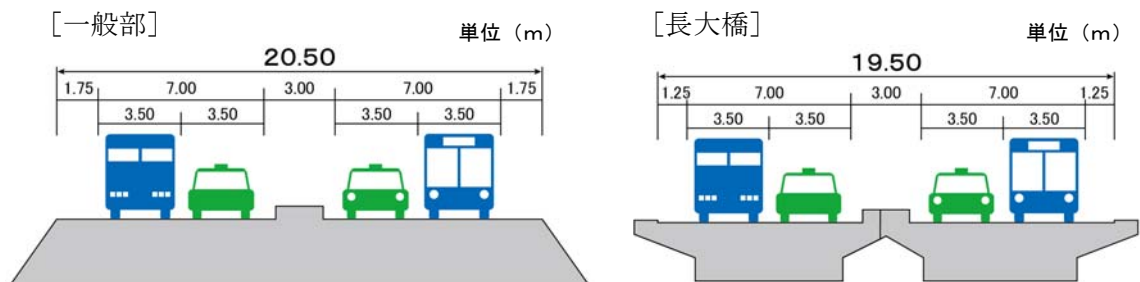


▲ 路線概要図

2) 計画諸元

事業名	国道208号大川佐賀道路	
区間	起点	福岡県大川市大字大野島
	終点	佐賀県佐賀市嘉瀬町
延長	L= 9.0km	
幅員	W= 20.5m [長大橋 : 19.5m]	
道路規格	第1種第3級	
設計速度	V= 80km/h	
車線数	4車線	
計画交通量	①34,100台/日 ②39,300台/日 ③34,000台/日 ④37,500台/日	

3) 標準断面図



2. 事業の必要性

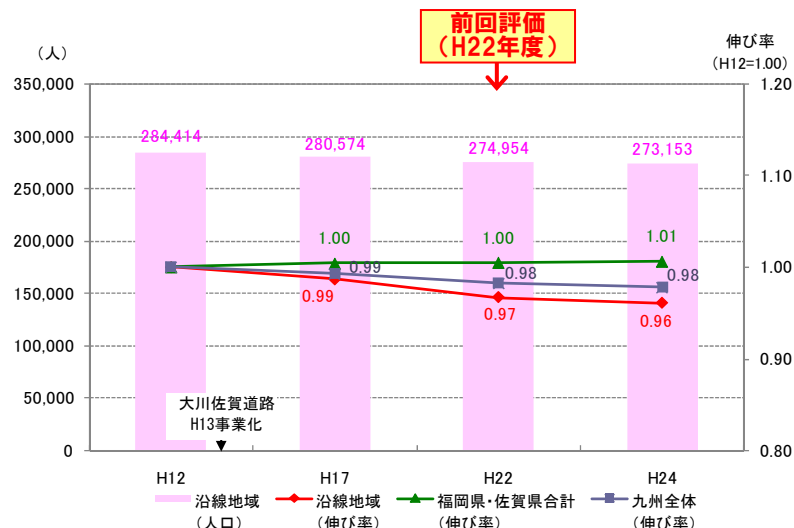
(1) 事業を巡る社会情勢等の変化

1) 地域の概況

①人口

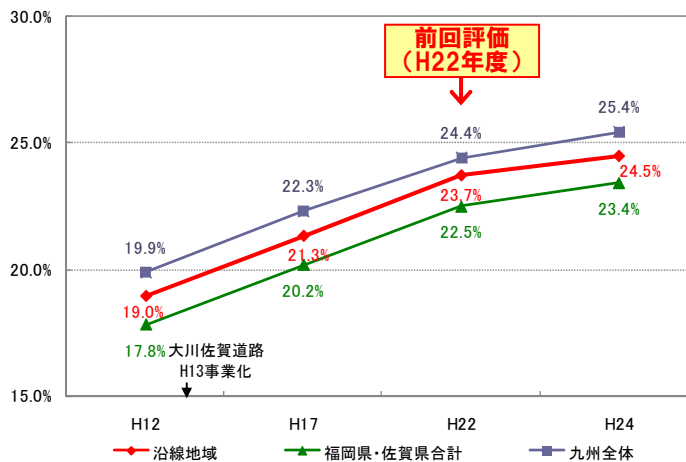
沿線地域の人口は、平成12年以降減少傾向となっている。

また、沿線地域の高齢化率は21%を上回っており、「超高齢社会」を迎えている。



注) 沿線地域：福岡県大川市、佐賀県佐賀市の合計
資料：H12～H22：国勢調査
H24：市町村別推計人口 (福岡県、佐賀県 H24. 10. 1現在)

▲ 人口の推移



注) 沿線地域：福岡県大川市、佐賀県佐賀市の合計
資料：H12～H22：国勢調査
H24：市町村別年齢別推計人口 (福岡県、佐賀県H24. 10. 1現在)

▼ 高齢化に関する用語の説明

区分	65歳以上人口割合
高齢化社会	7%～14%
高齢社会	14%～21%
超高齢社会	21%～

資料：WHO (世界保健機関) の定義

▲ 高齢化率の推移

▼ 人口及び高齢人口 (65歳以上) の推移

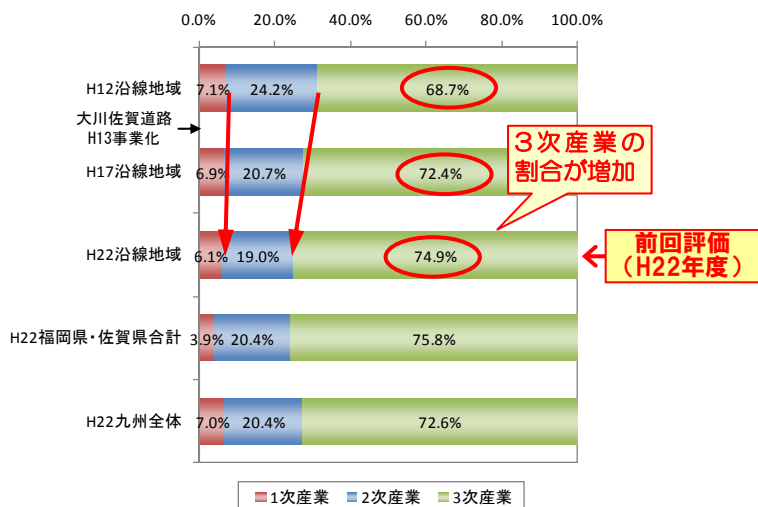
	居住人口(人)				高齢人口(人)			
	H12	H17	H22	H24	H12	H17	H22	H24
沿線地域	284,414	280,574	274,954	273,153	53,930	59,876	65,246	66,903
大川市	41,338	39,213	37,448	36,533	8,613	9,701	10,698	10,908
佐賀市	243,076	241,361	237,506	236,620	45,317	50,175	54,548	55,995
福岡県・佐賀県合計	5,892,353	5,916,277	5,921,756	5,928,873	1,049,422	1,193,906	1,331,472	1,388,449
福岡県	5,015,699	5,049,908	5,071,968	5,085,368	870,290	997,798	1,123,376	1,175,735
佐賀県	876,654	866,369	849,788	843,505	179,132	196,108	208,096	212,714
九州全体	13,445,561	13,352,934	13,203,965	13,144,000	2,672,207	2,977,920	3,221,771	3,343,000

注) 沿線地域：福岡県大川市、佐賀県佐賀市の合計
資料：H12～H22：国勢調査
H24：市町村別年齢別推計人口 (福岡県、佐賀県H24. 10. 1現在)

②産業

◆産業別従業人口

沿線地域の第3次産業の従業人口構成比は増加傾向であり、平成22年では約75%となっている。九州全体と比較しても第3次産業の従業人口構成比は高い水準にある。



注) 沿線地域：福岡県大川市、佐賀県佐賀市の合計
資料：H12～H22：国勢調査

▲産業別従業人口構成比の推移

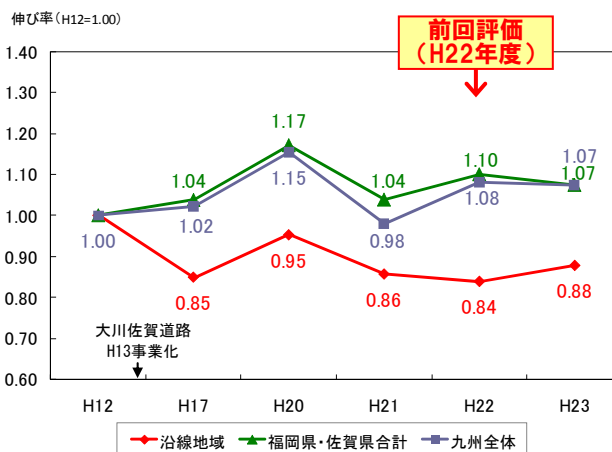
▼産業別従業人口の推移

地域	年度	従業人口(人)		
		1次産業	2次産業	3次産業
沿線地域	H12	10,955	37,242	105,624
	H17	10,237	30,568	106,918
	H22	8,733	27,404	107,826
大川市	H12	1,514	10,542	11,853
	H17	1,453	7,544	11,435
	H22	1,183	5,583	11,489
佐賀市	H12	9,441	26,700	93,771
	H17	8,784	23,024	95,483
	H22	7,550	21,821	96,337
福岡県・佐賀県合計	H12	136,167	685,853	1,935,685
	H17	127,686	602,055	1,993,583
	H22	103,616	545,704	2,028,875
福岡県	H12	86,545	565,761	1,675,592
	H17	81,128	494,042	1,722,066
	H22	65,740	446,172	1,752,639
佐賀県	H12	49,622	120,092	260,093
	H17	46,558	108,013	271,517
	H22	37,876	99,532	276,236
九州全体	H12	539,793	1,567,303	4,208,436
	H17	505,340	1,367,099	4,328,764
	H22	418,232	1,227,949	4,364,743

注) 沿線地域：福岡県大川市、佐賀県佐賀市の合計
資料：H12～H22：国勢調査

◆製造品出荷額

沿線地域では、製造品出荷額は平成20年以降減少傾向だったが、平成23年には増加に転じている。



注) 沿線地域：福岡県大川市、佐賀県佐賀市の合計

資料：H12～H22：工業統計調査
H23：経済センサス

▲製造品出荷額の推移

▼製造品出荷額の推移

地域	製造品出荷額(億円)					
	H12	H17	H20	H21	H22	H23
沿線地域	3,300	2,803	3,143	2,828	2,769	2,898
大川市	982	609	518	438	397	489
佐賀市	2,317	2,194	2,626	2,391	2,372	2,408
福岡県・佐賀県合計	89,788	93,131	105,086	93,210	98,746	96,413
福岡県	73,679	77,515	85,965	77,675	82,076	81,258
佐賀県	16,109	15,616	19,121	15,535	16,670	15,155
九州全体	197,541	201,981	228,000	193,471	213,413	212,217

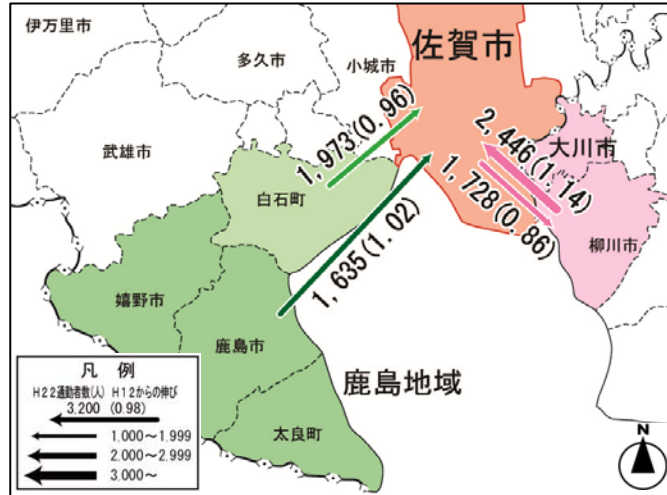
注) 沿線地域：福岡県大川市、佐賀県佐賀市の合計

資料：H12～H22：工業統計調査
H23：経済センサス

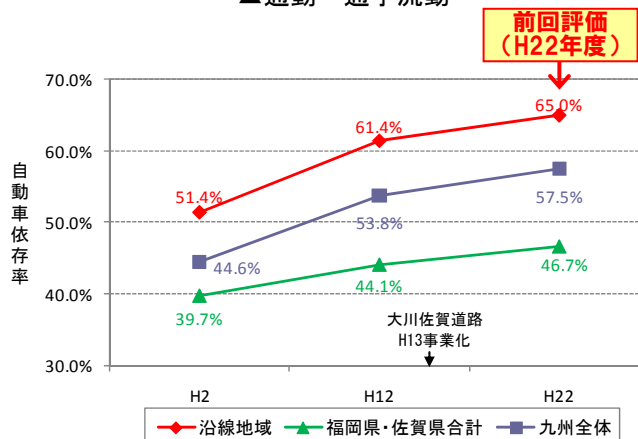
③通勤・通学

平成22年の大川・柳川地域から佐賀市への通勤・通学者数は、平成12年の1.14倍に増加しており、隣接する他の有明海沿岸地域と比較して佐賀市との結びつきが強い地域となっている。

また、沿線地域の通勤・通学時に自動車を利用している人の割合は、平成12年より増加している。平成22年では自動車の利用割合は約65%を占めており、九州全体（約58%）よりも高く自動車への依存率は高い。



▲通勤・通学流動



注) 沿線地域：福岡県大川市、佐賀県佐賀市の合計

資料：H2～H22：国勢調査

▲通勤・通学時の自動車依存率の推移

▼通勤・通学時の交通手段別利用者数の推移

		常住地による15歳以上自宅外就業者・通学者の利用交通手段(人)							
		徒歩	鉄道	バス	自動車	二輪車	自転車	その他	合計
沿線地域	H2	10,447	3,589	6,128	67,872	9,944	33,187	907	132,074
	H12	7,999	3,550	4,418	85,529	5,482	30,602	1,673	139,253
	H22	6,524	4,222	3,781	85,022	3,736	26,261	1,260	130,806
大川市	H2	1,542	1,240	1,090	10,291	1,805	4,532	192	20,692
	H12	1,032	1,046	720	12,019	945	3,168	241	19,171
	H22	935	939	502	11,489	692	2,241	152	16,950
佐賀市	H2	8,905	2,349	5,038	57,581	8,139	28,655	715	111,382
	H12	6,967	2,504	3,698	73,510	4,537	27,434	1,432	120,082
	H22	5,589	3,283	3,279	73,533	3,044	24,020	1,108	113,856
福岡県・佐賀県合計	H2	292,145	457,285	416,176	1,158,013	167,806	383,213	41,658	2,916,296
	H12	229,402	447,562	341,321	1,456,370	128,098	438,098	57,119	3,097,970
	H22	200,121	421,284	277,425	1,435,836	106,073	384,873	46,984	2,872,596
福岡県	H2	258,090	433,300	388,547	946,635	145,513	317,798	37,908	2,527,791
	H12	204,308	423,559	324,352	1,182,498	115,817	377,208	51,796	2,679,538
	H22	179,475	397,798	265,482	1,156,113	97,638	335,553	42,451	2,474,510
佐賀県	H2	34,055	23,985	27,629	211,378	22,293	65,415	3,750	388,505
	H12	25,094	24,003	16,969	273,872	12,281	60,890	5,323	418,432
	H22	20,646	23,486	11,943	279,723	8,435	49,320	4,533	398,086
九州全体	H2	684,600	590,973	795,008	2,742,896	451,690	795,396	93,783	6,154,346
	H12	533,744	584,152	636,441	3,553,327	344,440	840,300	110,183	6,602,587
	H22	454,315	549,033	509,994	3,526,726	283,176	715,962	96,728	6,135,934

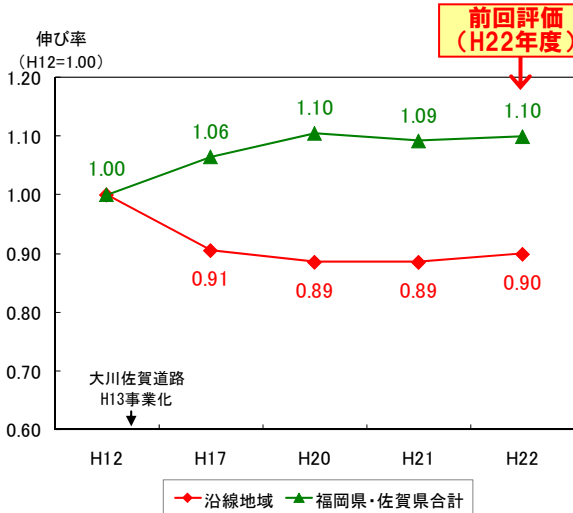
注) 沿線地域：福岡県大川市、佐賀県佐賀市の合計

資料：H2～H22：国勢調査

④観光

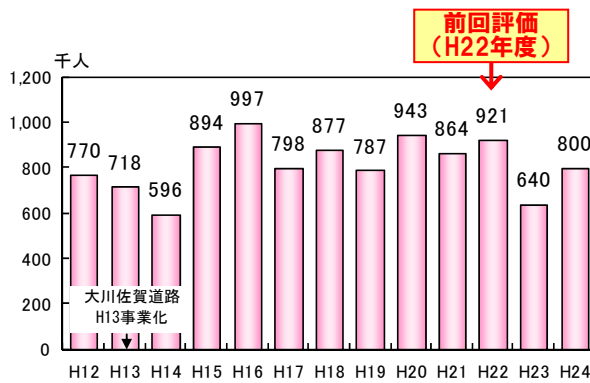
沿線地域の観光客数は、平成12年から平成21年まで減少傾向だったが、平成22年には増加に転じている。

近年では、平成19年に昇開橋が機械遺産に認定され、昇開橋を訪れる観光客が増加傾向であるとともに、佐賀市で毎年開催されている佐賀インターナショナルバルーンフェスタには80万人程度の観光客が訪れている。



注) 沿線地域：福岡県大川市、佐賀県佐賀市の合計
資料：H12～H22：佐賀県観光客動態調査
H12～H22：福岡県観光入込客推計

▲ 沿線地域における観光客の伸び率



資料：2013佐賀インターナショナルバルーンフェスタHP

▲ 佐賀インターナショナルバルーンフェスタの観客動員数



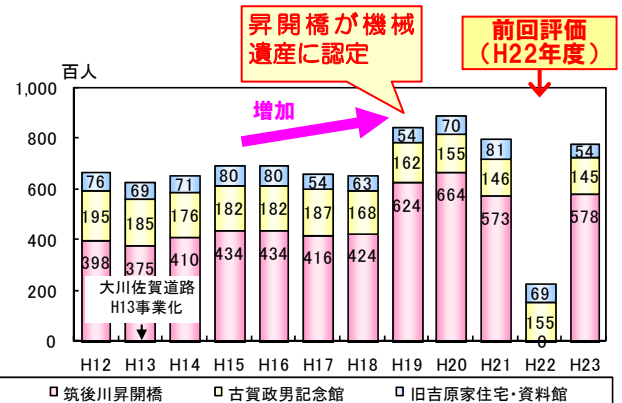
▲ 主要観光箇所位置図

▼ 観光客数の推移

	観光客数(千人)				
	H12	H17	H20	H21	H22
沿線地域	6,744	6,108	5,974	5,973	6,066
大川市	700	676	694	702	677
佐賀市	6,044	5,432	5,280	5,271	5,389
福岡県・佐賀県合計	118,397	125,997	130,727	129,192	130,060
福岡県	88,228	95,676	99,906	99,015	100,126
佐賀県	30,169	30,321	30,821	30,177	29,934

注) 沿線地域：福岡県大川市、佐賀県佐賀市の合計

資料：H12～H22：佐賀県観光客動態調査
H12～H22：福岡県観光入込客推計調査



※H22筑後川昇開橋は、保存修理工事のため通行不可

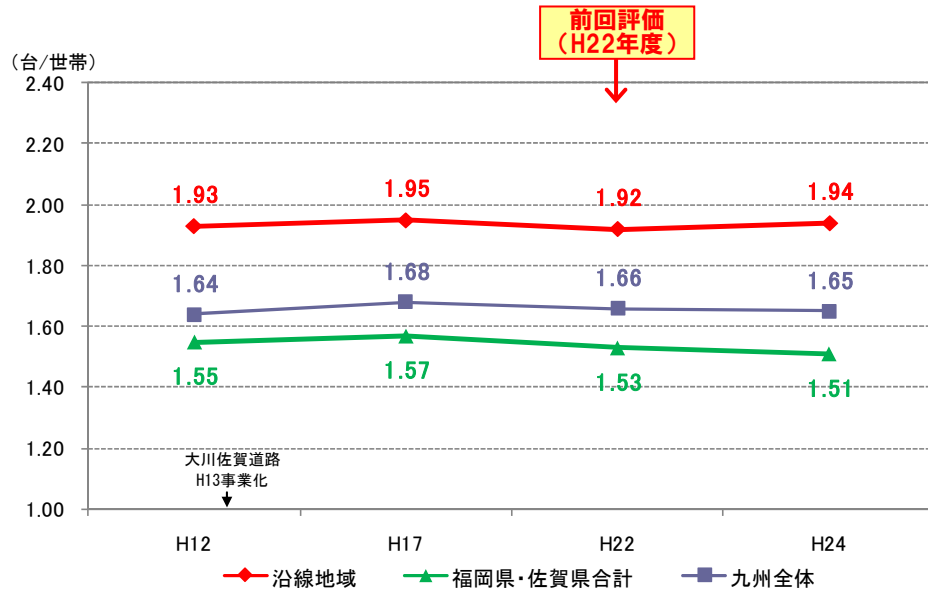
資料：H12～H23：福岡県観光入込客推計調査

▲ 大川市の主要観光施設の観光客数

2) 交通状況の変化

① 一世帯あたりの自動車保有台数

一世帯あたりの自動車保有台数は、平成12年以降横ばい傾向であるものの、九州全体、福岡県・佐賀県合計よりも高く、自動車依存は高い状況にある。



注) 沿線地域：福岡県大川市、佐賀県佐賀市の合計

資料：H12～H24：自動車保有車両数、軽自動車車両数

H12～H22：国勢調査、H24：九州各県推計人口（福岡県、佐賀県H24.10.1現在）

▲ 一世帯あたり自動車保有台数の推移

▼ 自動車保有台数の推移

	自動車保有台数(台)			
	H12	H17	H22	H24
沿線地域	187,185	194,394	199,708	202,335
大川市	29,725	29,696	29,548	29,457
佐賀市	157,460	164,698	170,160	172,878
福岡県・佐賀県合計	3,410,008	3,609,885	3,680,309	3,719,597
福岡県	2,831,214	2,995,542	3,052,906	3,086,410
佐賀県	578,794	614,343	627,403	633,187
九州全体	8,184,782	8,693,505	8,835,862	8,916,881

注) 沿線地域：福岡県大川市、佐賀県佐賀市の合計

資料：H12～H24：自動車保有車両数、軽自動車車両数

▼ 世帯数の推移

	世帯数(世帯)			
	H12	H17	H22	H24
沿線地域	97,058	99,895	103,785	104,535
大川市	12,055	12,164	12,577	12,695
佐賀市	85,003	87,731	91,208	91,840
福岡県・佐賀県合計	2,196,027	2,297,342	2,405,506	2,456,223
福岡県	1,917,721	2,009,911	2,110,468	2,156,447
佐賀県	278,306	287,431	295,038	299,776
九州全体	4,997,557	5,164,018	5,324,342	5,409,208

注) 沿線地域：福岡県大川市、佐賀県佐賀市の合計

資料：H12～H22：国勢調査

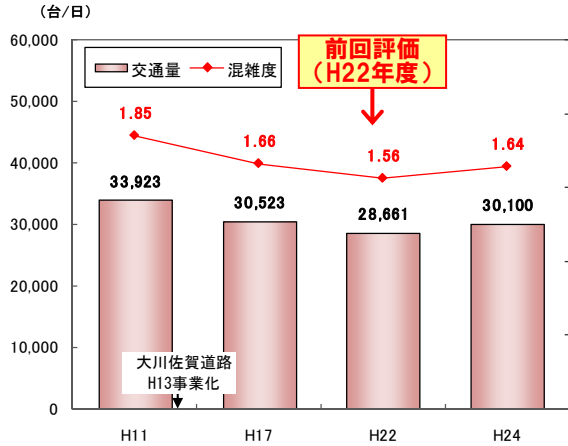
H24：九州各県推計人口（福岡県、佐賀県H24.10.1現在）

②交通量と混雑度

大川佐賀道路に並行する国道208号4車線区間の交通量は、概ね横ばい傾向で平成24年では約30,100台/日が利用しており、混雑度が「1.64」と交通容量を大きく上回っている。

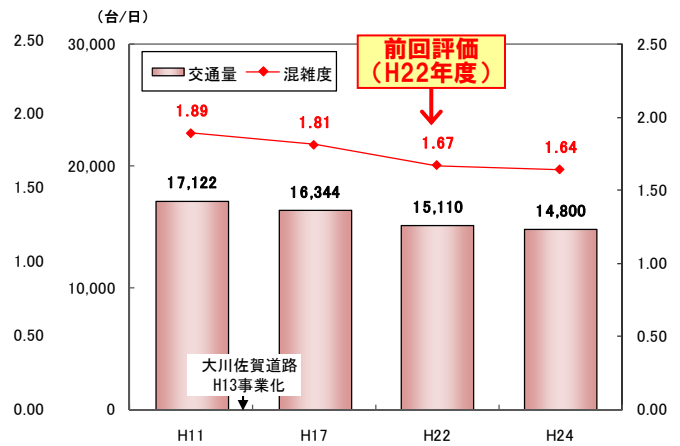
国道208号2車線区間の交通量は、減少傾向にあるものの、平成24年では約14,800台/日が利用しており、混雑度が「1.64」と4車線区間とともに交通容量を大きく上回っている。

【①国道208号（4車線区間）】



※地点名称：国道208号佐賀市本庄町袋

【②国道208号（2車線区間）】



※地点名称：国道208号佐賀市諸富町山領

資料：H11～H22：道路交通センサス
H24：佐賀国道事務所調査結果

▲ 交通量と混雑度の変化



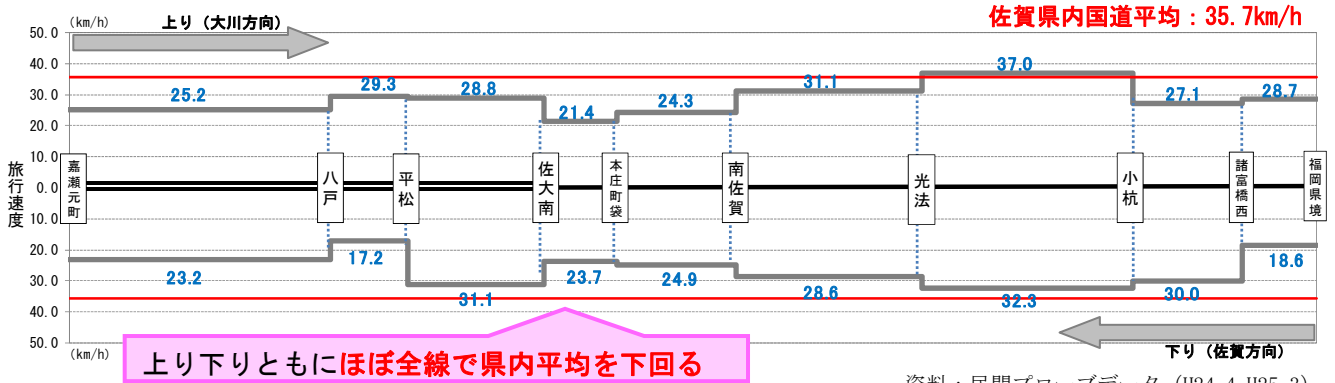
▲ 交通状況位置図

(2) 事業の効果・必要性

効果1：交通混雑の緩和

大川佐賀道路に並行する国道208号には、主要渋滞箇所が数多くあり、交通混雑の発生により混雑時旅行速度は県平均を下回る区間がほとんどとなっている。

大川佐賀道路の整備により国道208号などの並行する現道の交通量が減少し、交通混雑の緩和、走行性の向上が期待される。

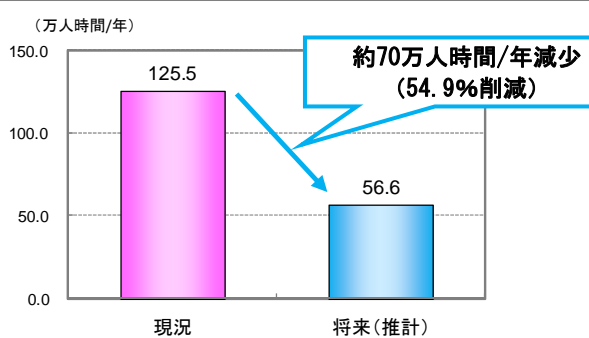


資料：民間プローブデータ (H24.4-H25.3)

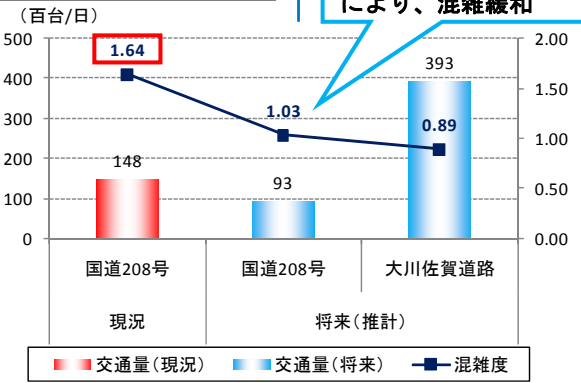
▲国道208号の区間別旅行速度 (混雑時)



大川佐賀道路への転換により、混雑緩和



資料：佐賀国道事務所交通量観測結果
民間プローブデータ (H24.4-H25.3)
将来交通量推計結果
▲ 渋滞損失時間削減効果



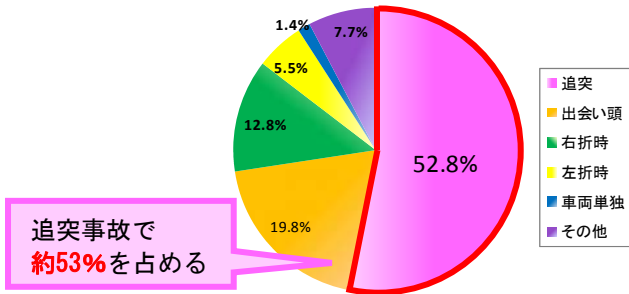
資料：H24交通量調査結果、将来交通量推計結果
▲ 国道208号の交通量、混雑度の変化

効果2：交通安全性の向上

並行道路である国道208号沿線は交通量が多く、追突事故の割合が高くなっており、全体の5割以上を占める。

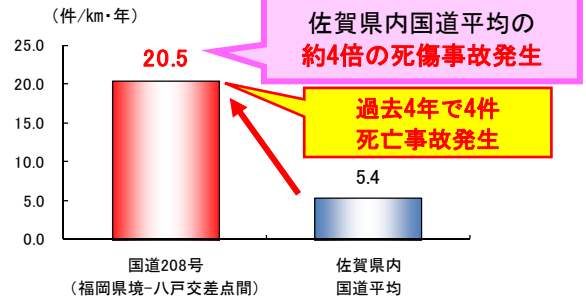
交通死傷事故発生件数も約20.5件と、県平均の約4倍の事故が発生しており、死傷事故率はほぼ全ての区間で県平均を上回っている。

大川佐賀道路の整備により、国道208号等の並行する現道の交通が大川佐賀道路に転換することから、現道の交通混雑緩和が図られ、交通の安全性も向上し、交通死傷事故の減少が期待される。



資料：交通事故総合データベース（H20～H23の4年対象）

▲ 国道208号（並行現道）の事故類型【福岡県境～八戸交差点】



資料：交通事故総合データベース（H20～H23の4年平均）

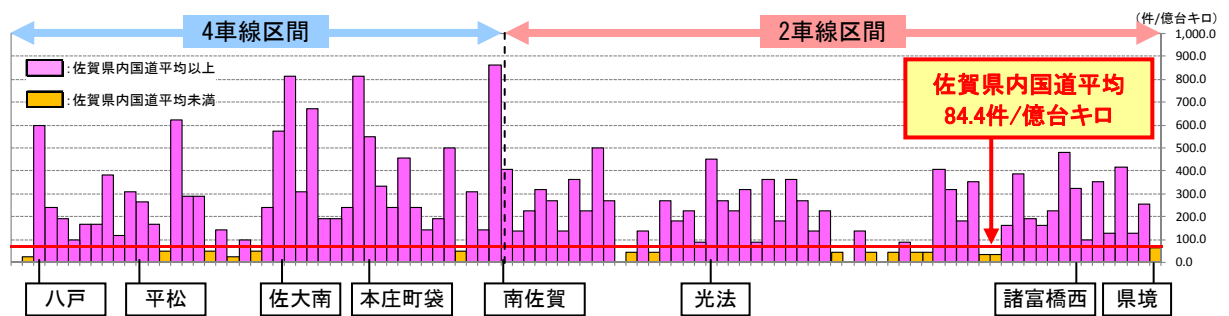
▲ 国道208号（並行現道）の1kmあたりの死傷事故件数【福岡県境～八戸交差点】



混雑により、追突事故が発生しやすい

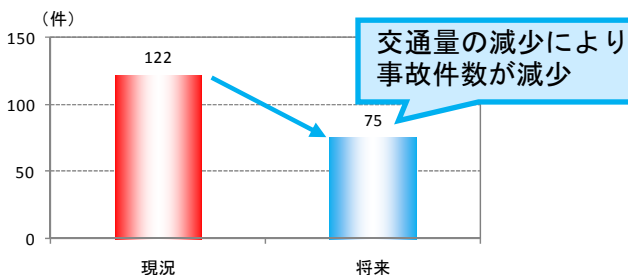


▲ 国道208号八戸交差点の状況（混雑時）

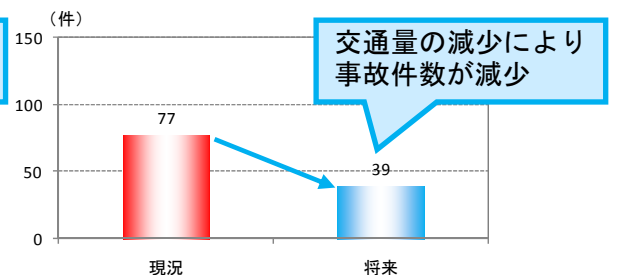


資料：交通事故総合データベース（H20～H23の4年平均）

▲ 国道208号における死傷事故率（100mピッチ）



▲ 国道208号4車線区間の事故件数削減効果



資料：交通事故総合データベース（H20～H23の4年平均）

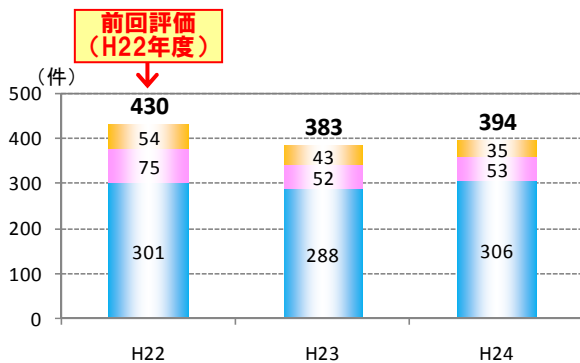
▲ 国道208号2車線区間の事故件数削減効果

効果3：救急医療活動の支援

沿道の佐賀市、大川市、柳川市では管内の病院だけでなく、県境を越えて相互の病院への救急搬送も行われている。

佐賀市に立地している第三次救急医療施設のうち、佐賀県医療センター好生館は平成25年に大川佐賀道路の沿線に移転している。

大川佐賀道路の整備により、大川市から佐賀県医療センター好生館までの所要時間の大幅な短縮が期待できる。

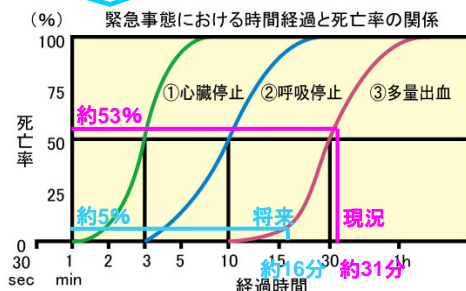


■ 佐賀広域消防局⇒大川市・柳川市
 ■ 大川市消防本部⇒佐賀市
 ■ 柳川市消防本部⇒佐賀市

資料：佐賀広域消防局、大川市消防本部、柳川市消防本部データ

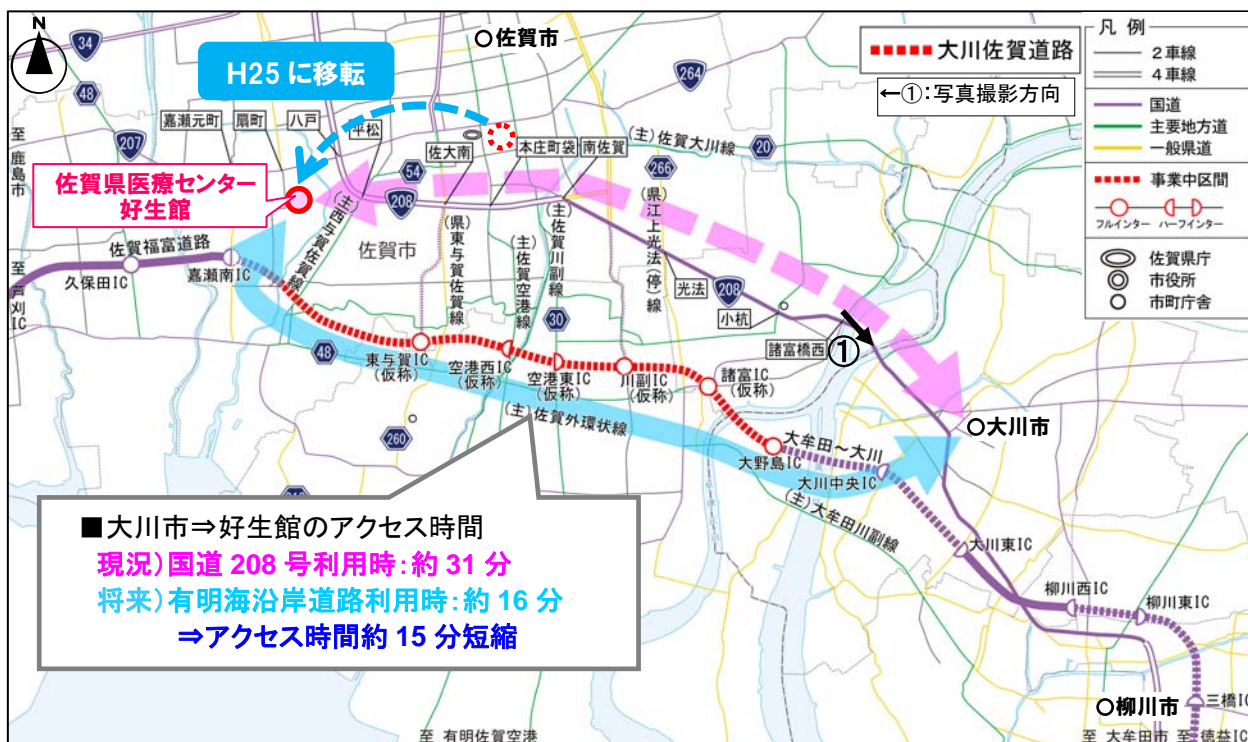
▲ 佐賀市と大川市・柳川市間の搬送件数の推移

約15分の時間短縮(約31分⇒約16分)により、
 死亡率は
 多量出血時：約48%程度低下(約52.8%⇒約5.0%)



資料：カーラーの救命曲線

▲ 佐賀県医療センター好生館への所要時間短縮による死亡率の変化



▲ 佐賀県医療センター好生館までの救急搬送時間の短縮

資料：H22道路交通センサス

<大川市消防本部ヒアリング結果(H25.9)>

佐賀市への搬送の際に搬送経路で混雑が発生！

- 好生館や佐賀大学病院など佐賀市内の病院に搬送することもあります。国道208号では朝・夕ピークの混雑時に、大川橋・諸富橋の2つの橋では幅員が狭く救急車が通行する際に非常に時間がかかります。
- 大川佐賀道路が整備されれば、移転した好生館までの所要時間が大幅に短縮され、多くの命が救われることになると思います。

幅員が狭く、大型車通行時等は救急車のすり抜けが困難



▲ 大川橋の交通状況

効果4：有明佐賀空港利用促進の支援

有明佐賀空港は平成15年度以降着実に利用者が増加してきており、東京便の増便、成田便の新設、国際便では上海便に加え、ソウル便の就航が予定されている。有明佐賀空港利用促進のため、「マイエアポート宣言事業所」への参加を呼び掛けており、現在1,155の事業所が参加し、有明佐賀空港の利用促進を支援している。有明海沿岸道路の整備が進むことで有明佐賀空港へのアクセス時間が短縮しており、大川佐賀道路の整備により更なる空港の利用者増が期待できる。

■鹿島市⇒有明佐賀空港のアクセス時間
 整備前(H17)：約66分
 現況(H25)：約58分
 将来(H42)：約42分
 ⇒整備前後で約24分短縮
 (うち大川佐賀道路で約7分短縮)

■大牟田市⇒有明佐賀空港のアクセス時間
 整備前(H17)：約78分
 現況(H25)：約60分
 将来(H42)：約43分
 ⇒整備前後で約35分短縮
 (うち大川佐賀道路で約2分短縮)



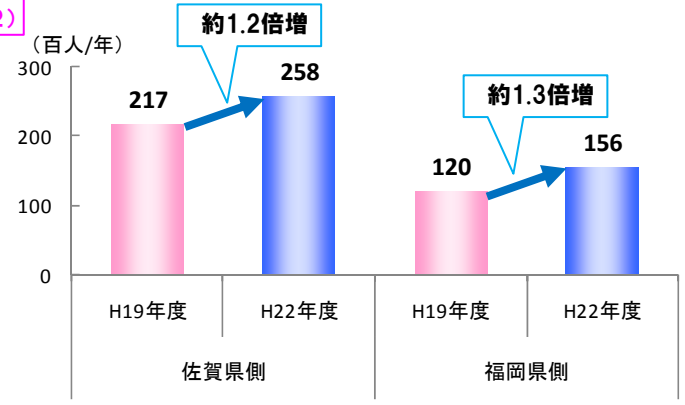
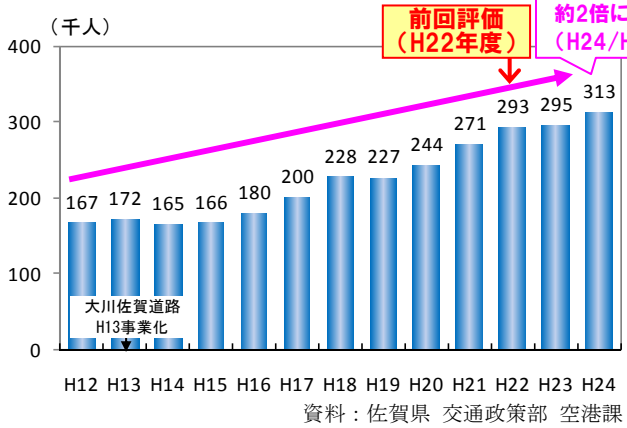
※有明海沿岸道路は現況：60km/h（暫定2車線）、将来（三池港IC-(仮)佐賀JCT）：80km/h（完成4車線）、将来（(仮)佐賀JCT-(仮)白石3IC）：70km/h（暫定2車線）、一般道路部：40km/hで所要時間を算出。その他の道路については、道路交通センサス（整備前：H17、現況・将来：H22）の混雑時旅行速度を用いて所要時間を算出。

※()内左数値：延長(km)、右数値：平均速度(km/h)

※整備前(H17)はIC付近の交差点間で所要時間を算出。

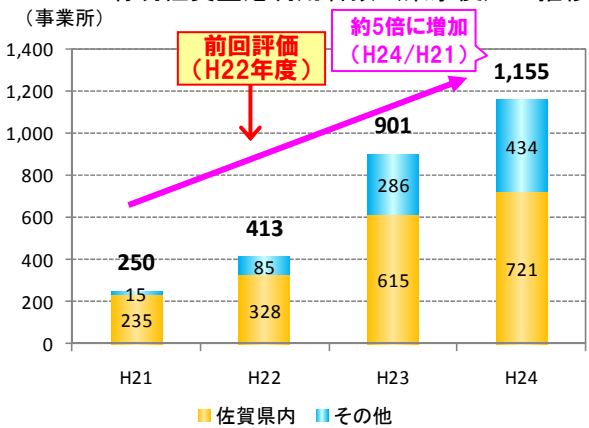
資料：道路交通センサス(H17, H22)

▲ 有明佐賀空港の利用圏域



※福岡県側の都市：大牟田市、柳川市、大川市、みやま市
 ※佐賀県側の都市：小城市、鹿島市、嬉野市、大町町、江北町、白石町
 資料：有明佐賀空港HP（国内定期便、チャーター便搭乗者数）
 航空旅客動態調査

▲ 有明佐賀空港利用者数（東京便）の推移



▲ 有明海沿岸道路沿線都市の有明佐賀空港利用者数の変化

<佐賀県交通政策部空港課ヒアリング結果(H25.9)>
大牟田・熊本地域からの利用者増に期待！

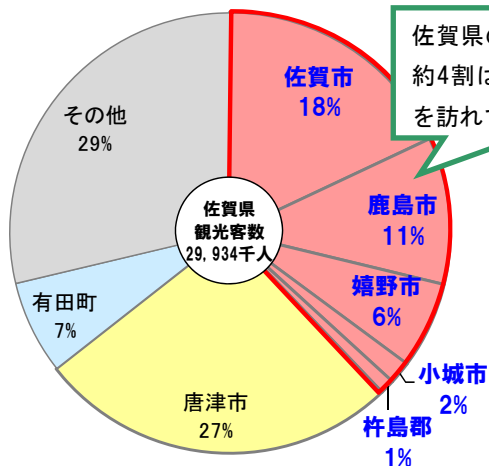
- 有明佐賀空港の利用者促進対策としてマイエアポート宣言事業所への参加を呼び掛けており、空港から20km圏内の事業所には多く参加して頂いている。
- 今後は、20~30km圏内の事業所にも参加して頂きたいと考えているが、そのためには大川佐賀道路の整備が不可欠です。一日も早い整備を願っております。

▲ 有明佐賀空港マイエアポート宣言事業所数の推移

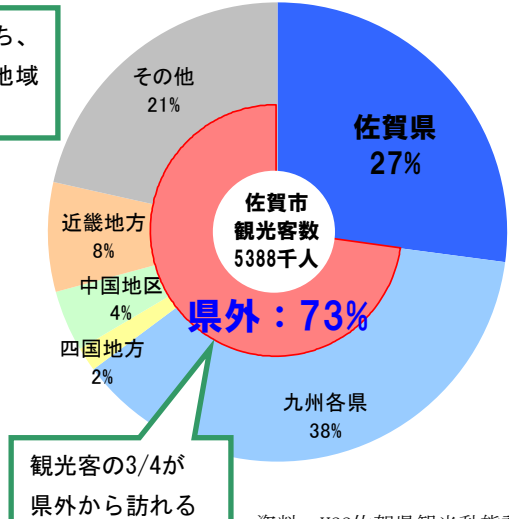
効果5：広域的な観光の支援

佐賀市周辺では、約100万人が訪れる佐賀インターナショナルバルーンフェスタや吉野ヶ里遺跡等の観光拠点が存在し、県外からも多くの観光客が訪れている。

大川佐賀道路を含む有明海沿岸道路等の整備により、有明海沿岸地域の観光拠点への所要時間の短縮が図られ、沿線地域の観光支援に寄与する。また、大川佐賀道路の沿線には有明佐賀空港が立地し、これまでの有明海沿岸道路の供用以降空港利用者は増加しており、今後の供用によりさらなる空港利用者の増加、県外観光客の増加が期待される。



佐賀県の観光客のうち、約4割は有明海沿岸地域を訪れている。



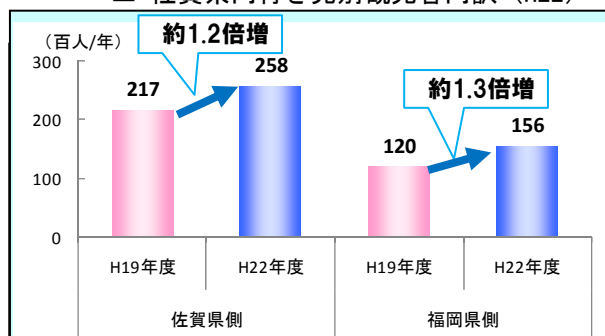
観光客の3/4が県外から訪れる

※有明海沿岸地域（佐賀県側）：佐賀市、鹿島市、嬉野市、小城市、杵島郡（大町町、江北町、白石町）とする。
資料：H22佐賀県観光動態調査

資料：H22佐賀県観光動態調査

▲ 佐賀県内行き先別観光客内訳（H22）

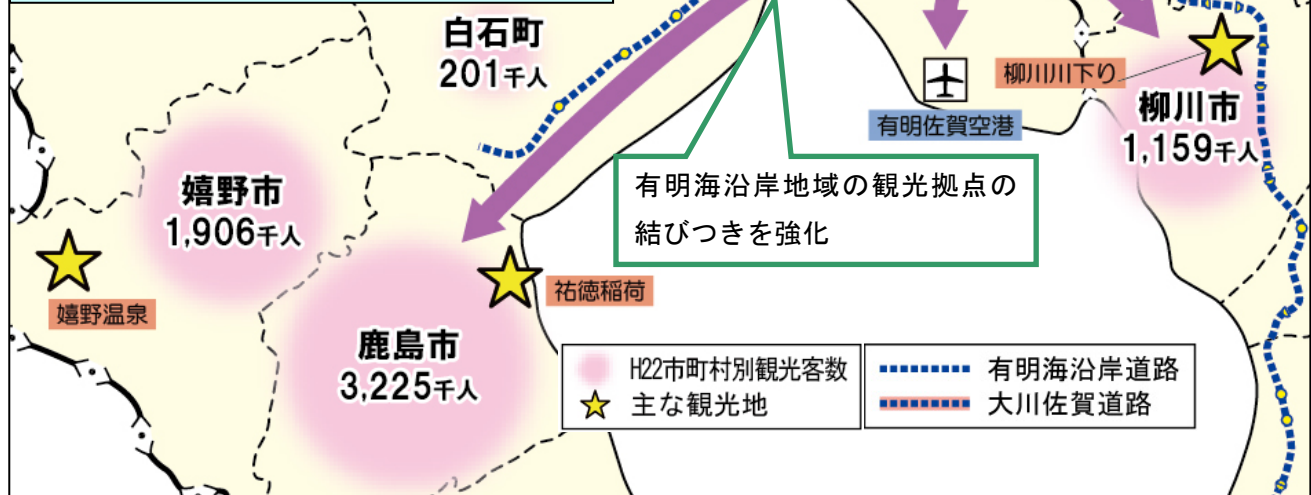
▲ 発地別観光客内訳（佐賀市）（H22）



※福岡県側の都市：大牟田市、柳川市、大川市、みやま市
※佐賀県側の都市：小城市、鹿島市、嬉野市、大町町、江北町、白石町

資料：有明佐賀空港HP（国内定期便、チャーター便搭乗者数）航空旅客動態調査

▲ 有明海沿岸道路沿線都市の有明佐賀空港利用者数の変化（再掲）



有明海沿岸地域の観光拠点の結びつきを強化

● H22市町村別観光客数
★ 主な観光地
--- 有明海沿岸道路
--- 大川佐賀道路

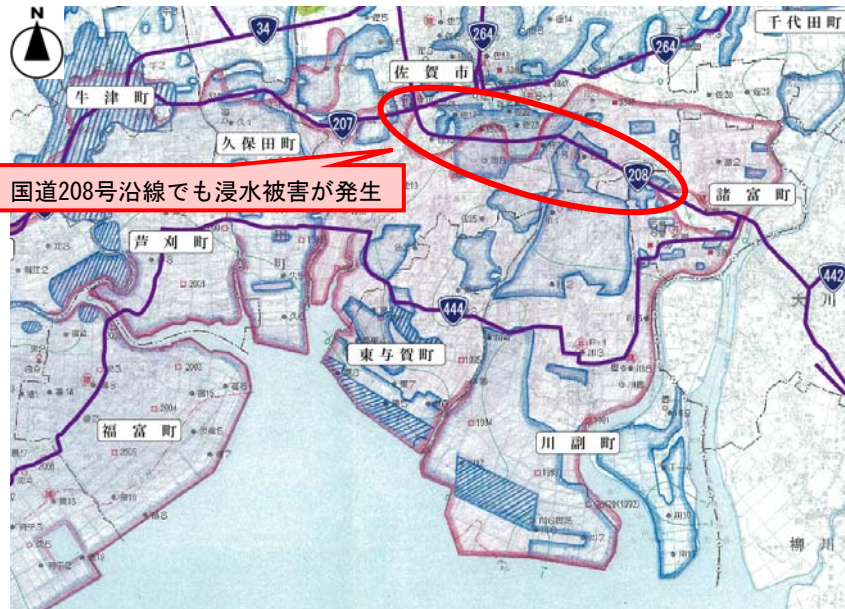
▲ 大川佐賀道路周辺地域の主要な観光道路-2-15

資料：H22佐賀県観光動態調査

効果6：地域防災の支援

佐賀平野では、台風や集中豪雨による浸水被害が頻発しており、平成2年の大洪水の際には広範囲にわたって浸水の被害を受けた。また、洪水ハザードマップにおいて、佐賀平野一帯は浸水が想定されており、大雨の際には道路の冠水による避難経路の寸断等、大きな被害が予想される。

大川佐賀道路の整備によって、浸水時の避難経路や緊急輸送道路として機能することが期待される。



国道208号沿線でも浸水被害が発生



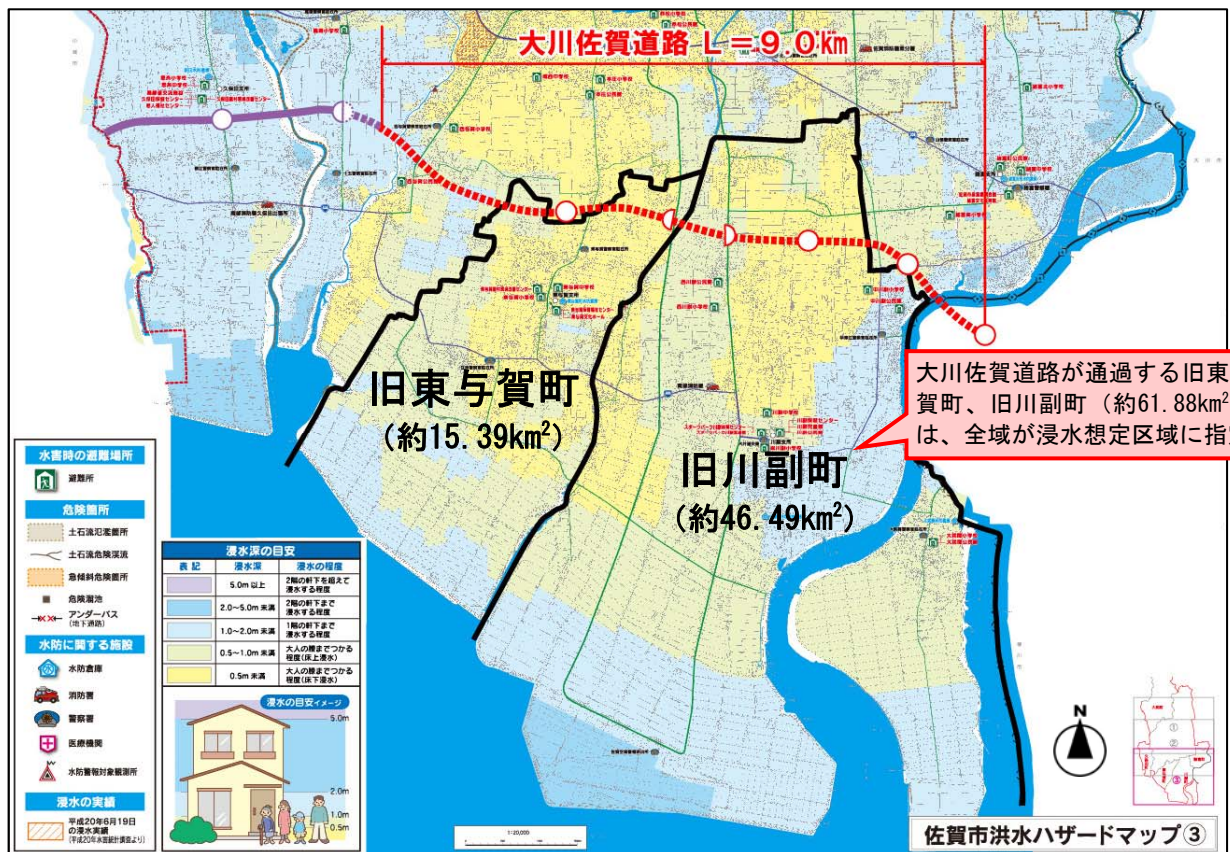
資料：佐賀市

▲ 平成2年大洪水時の道路冠水状況



資料：佐賀市

▲ 平成2年大洪水時の浸水区域



大川佐賀道路が通過する旧東与賀町、旧川副町 (約61.88km²) は、全域が浸水想定区域に指定

資料：佐賀市洪水ハザードマップ

▲ 浸水想定区域

その他（B/Cで計測できない効果）

道路事業の整備効果			
分野	内容		定量化
暮らし	医療施設 までの アクセス 改善	第三次救急医療 施設の立地	1施設[H25]（佐賀県医療センター好生館の移転） <佐賀県医療センター好生館> 平成25年5月に佐賀市水ヶ江から佐賀市嘉瀬町に 移転
		搬送時間の短縮 による救命率の 向上	多量出血に関する救命率が約48%向上[H42] （大川市⇒佐賀県医療センター好生館） <死亡率> 現況[H22]：約52.8% 将来[H42]：約5.0%
環境	生活環境 の改善	自動車の走行性 向上による環境 への影響低減	CO ₂ 削減：13,111t-CO ₂ /年[H42] NO ₂ 削減：15.2t-NO _x /年[H42] SPM削減：0.87t-SPM/年[H42]
安全	災害時の 移動経路 確保	浸水想定区域の 回避	佐賀市地域防災計画で設定された旧東与賀町、旧 川副町の浸水想定区域の回避[H24]

(3) 事業の投資効果

1) 事業の目的

大川佐賀道路は、高規格幹線道路などを補完し、地域の発展の核となる都市圏の形成、地域相互の交流促進、広域交通拠点との連結を支援する事業である。

2) 費用便益分析結果【残事業】

① 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基準年	平成 25 年度			
供用年	平成 33 年度			
初年便益	8.6億円	2.1億円	0.75億円	11億円
基準年における 現在価値 (B)	1,156億円	202億円	103億円	1,462億円

② 費用

	事業費	維持管理費	合 計
基準年	平成 25 年度		
単純合計	650億円	65億円	715億円
基準年における 現在価値 (C)	466億円	19億円	485億円

③ 評価指標の算定結果

費用便益比 (CBR)	$B/C = 3.0$
-------------	-------------

※費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

※便益の算定については、「将来交通需要推計の改善について【中間とりまとめ】」に示された第二段階の改善を反映

3) 費用便益分析結果【全事業】

① 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基準年	平成 25 年度			
供用年	平成 33 年度			
初年便益	8.6億円	2.1億円	0.75億円	11億円
基準年における 現在価値 (B)	1,156億円	202億円	103億円	1,462億円

② 費用

	事業費	維持管理費	合 計
基準年	平成 25 年度		
単純合計	678億円	65億円	742億円
基準年における 現在価値 (C)	497億円	19億円	516億円

③ 評価指標の算定結果

費用便益比 (CBR)	$B/C = 2.8$
-------------	-------------

※費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

※便益の算定については、「将来交通需要推計の改善について【中間とりまとめ】」に示された第二段階の改善を反映

(4) 事業の進捗状況

1) 事業の経緯

年度	経緯
平成13年度	事業化
平成14年度	環境調査
平成15年度～平成19年度	環境影響評価
平成19年度	都市計画決定
平成20年度～平成23年度	路線測量・道路予備設計・地質調査
平成24年度	用地買収着手

2) 事業費の進捗状況

	全体事業費	H24年度末進捗	進捗率
事業費	約709億円	約23億円	約3%
うち用地補償費	約64億円	約0.2億円	約0.3%

※進捗率は事業費ベース



年度	嘉瀬町～東与賀IC(仮) (L=3.0km)	東与賀IC(仮)～川副IC(仮) (L=3.2km)	川副IC(仮)～諸富IC(仮) (L=1.4km)	諸富IC(仮)～大野島IC (L=1.4km)
H13	事業化			
H14	環境調査			
H15	環境影響評価			
H16	環境影響評価			
H17	環境影響評価			
H18	環境影響評価			
H19	都市計画決定			
H20	都市計画決定			
H21	路線測量・道路予備設計・地質調査			
H22	路線測量・道路予備設計・地質調査			
H23	前回評価(H22)	地元協議・用地買収		
H24	地元協議・用地買収			
H25	地元協議・用地買収			



写真①：大川佐賀道路事業区間
道路-2-20

3) 前回評価時との比較

		前回評価 (H22年度)	今回評価 (H25年度)
延 長		9.0 km	9.0 km
計画交通量		① 19,500台/日 ② 21,500台/日 ③ 18,700台/日 ④ 20,000台/日	① 34,100台/日 ② 39,300台/日 ③ 34,000台/日 ④ 37,500台/日
事業費 (現在価値化後)		約 560 億円 (約 351 億円)	約 709 億円 (約 497 億円)
B/C	残事業	2.2 = $\frac{776\text{億円}}{347\text{億円}}$	3.0 = $\frac{1,462\text{億円}}{485\text{億円}}$
	全事業	2.1 = $\frac{776\text{億円}}{366\text{億円}}$	2.8 = $\frac{1,462\text{億円}}{516\text{億円}}$

※ [] 書き上段：現在価値化後の便益、下段：現在価値化後のコスト

4) 事業費増額の理由

	前回評価 (H22年度)	今回評価 (H25年度)	変更内容	理 由
事業費	約 560 億円	約 709 億円	約+149億円	・ 4車線整備の所要額 【約149億円】

3. 事業進捗の見込み

(1) 今後の事業の見通し

平成24年度末までの事業進捗率は約3%であり、そのうち用地進捗率は約0.3%となっている。
今年度以降、用地買収等、事業の進捗を図っていく。

(2) 地域の協力体制

下記の組織において、国及び関係機関に対し、積極的な要望活動が実施されている。

◆期成会・連合会等

名 称	主な構成メンバー	活動内容
有明海沿岸道路建設促進 福岡県期成会 会長：大牟田市長	大牟田市長 高田町長 柳川市長 大川市長 各首長及び議長	・有明海沿岸道路の早期実現について、 毎年国土交通省及び関係機関へ要望 H13. 10. 30 整備局要望 H13. 11. 16 整備局要望 H14. 11. 05 整備局要望 H14. 11. 15 本省要望 H16. 01. 30 本省要望 H16. 07. 07 本省要望 H16. 07. 08 整備局要望 H16. 11. 09 本省要望
有明海沿岸道路・佐賀県 南西自動車道 建設促進期成会 会長：鹿島市長	鹿島市長 有明町長 塩田町長 鹿島市議会議長 有明町議会議長 太良町議会議長 塩田町議会議長 鹿島商工会議所会長 有明町商工会会長 太良町商工会会長 塩田町商工会会長	・有明海沿岸道路の早期実現について、 毎年国土交通省及び関係機関へ要望 H14. 02. 21 整備局要望 H15. 02. 18 整備局要望 H16. 12. 24 整備局要望 H17. 02. 28 整備局要望 H17. 03. 16 本省要望
有明海沿岸道路建設促進 佐賀県期成会 会長：佐賀市長 (佐賀地区建設関係合同 期成会等)	佐賀市長 鹿島市長 川副町長 諸富町長 東与賀町長 久保田町長 芦刈町長 白石町長 福富町長 有明町長 地元市町村議会議長 県議会議長 佐賀県中小企業団体中央会 会長 佐賀県観光連盟会長 佐賀県農協中央会会長	・有明海沿岸道路の早期実現について、 毎年国土交通省及び関係機関へ要望 H14. 07. 04 本省要望 H17. 05. 24 整備局要望 H17. 07. 13 本省要望 H18. 04. 28 総会(合同) H18. 05. 31 整備局要望 H19. 05. 29 総会(合同) H20. 05. 09 総会(合同) H20. 07. 17 本省要望 H21. 04. 27 総会(合同) H21. 07. 08 整備局要望 H24. 10. 05 整備局要望 H25. 02. 13 本省要望

	佐賀県有明海漁業協働組合 連合会代表理事会長 佐賀県バスタクシー協会会 長 佐賀県トラック協会会長 地元市町村商工会会長 佐賀・鹿島青年会議所理事長 佐賀県県土づくり本部長 佐賀県交通施策部長 佐賀県道路課長 佐賀県まちづくり推進課長 佐賀県土木事務所長 武雄土木事務所長 鹿島土木事務所長	
有明海沿岸道路西部地区 建設促進期成会 会長：諫早市長	長崎県諫早市長 佐賀県鹿島市長 長崎県小長井長議会議員 長崎県小長井町長 長崎県高来町長 佐賀県太良町長 長崎県諫早市議会議員 長崎県高来町議会議員 佐賀県鹿島市議会議員 佐賀県太良町議会議員	・有明海沿岸道路西部地区の早期実現に ついて、毎年国土交通省及び関係機関 へ要望 H17. 08. 03 総会 H17. 10. 21 事務所要望 H18. 07. 31 総会 H18. 10. 17 事務所要望 H19. 07. 23 総会 H19. 10. 25 事務所要望 H20. 07. 29 総会 H20. 10. 21 事務所要望 H21. 07. 31 総会 H21. 11. 09 事務所要望
九州中部商工連合会 会長：大牟田商工会議所	久留米商工会議所 佐賀県商工会議所 大牟田商工会議所 甘木商工会議所 玉名商工会議所 鳥栖商工会議所 菊池市商工会 大和町商工会 高田町商工会 柳川商工会議所 島原商工会議所 山鹿商工会議所 大川商工会議所 荒尾商工会議所 八女商工会議所 山川町商工会 南関町商工会 瀬高町商工会 三橋町商工会 筑後商工会議所 中州町商工会	・有明海沿岸主要幹線道路網の早期整備 促進について、毎年国土交通省及び関 係機関へ要望 H18. 03. 02 事務所要望 H18. 08. 08 総会 H19. 07. 20 事務所要望 H20. 11. 27 事務所要望 H21. 12. 04 事務所要望 H23. 11. 08 総会 H24. 11. 12 総会

自民党県議団 有明海沿岸道路整備促進 議員連盟	佐賀県議会議員	<ul style="list-style-type: none"> 有明海沿岸道路の早期整備について、国土交通省及び関係機関へ要望 <参考> H18. 02. 22 整備局要望 H19. 10. 23 整備局要望 H20. 07. 17 本省要望 H21. 04. 08 整備局要望 H21. 10. 26 整備局要望 H24. 10. 05 整備局要望 H25. 02. 13 本省要望
佐賀地区建設関係合同期 成会		H22. 07. 08 総会 H23. 08. 31 総会 H23. 11. 16 本省要望 H24. 05. 23 総会 H24. 07. 27 整備局要望 H24. 11. 20 本省要望 H25. 05. 21 本省要望
福岡県大川市	大川市長	<ul style="list-style-type: none"> 有明海沿岸道路の整備促進について、国土交通省及び関係機関へ要望 <参考> H18. 10. 20 整備局要望 H19. 10. 23 整備局要望 H19. 11. 21 本省要望 H20. 10. 21 整備局要望 H20. 10. 23 整備局要望 H22. 10. 22 整備局要望 H23. 10. 19 整備局要望
佐賀県	佐賀県西部地区開発推進協 議会 佐賀県市長会 佐賀県商工会議所連合会 自由民主党佐賀県支部連合 会	<ul style="list-style-type: none"> 有明海沿岸道路の整備促進について、国土交通省及び関係機関へ要望 <参考> H19. 03. 12 整備局要望 H21. 06. 19 整備局要望 H22. 03. 02 整備局要望

◆協力体制

組織名	業務内容
佐賀市都市政策課	地元対応及び地域情報窓口
大川市都市建設課	

(3) 環境・景観への取り組み状況

○環境への取り組み状況

平成 19 年度の環境影響評価では、本事業を実施する区域及びその周辺地域における「工事の実施」、「土地又は工作物の存在及び供用」に関する環境要素区分 16 項目（大気質、騒音、振動、低周波音など）について調査、予測、評価を実施し、大気質、振動、低周波音などは環境基準や要請限度を満足すると予測されている。

一方、騒音については一部環境基準を超える箇所も見られるものの、遮音壁を設置し環境保全措置を講じることによって、整備による周辺環境に及ぼす影響の回避又は低減が図られると予測されている。

また、工事の実施中においても良好な生活環境を保持するために、工事用車両の運行ルートは市街地や集落の通過を避けるなどの環境影響低減措置が図られている。

○景観への取り組み状況

◆道路付属物の色彩統一

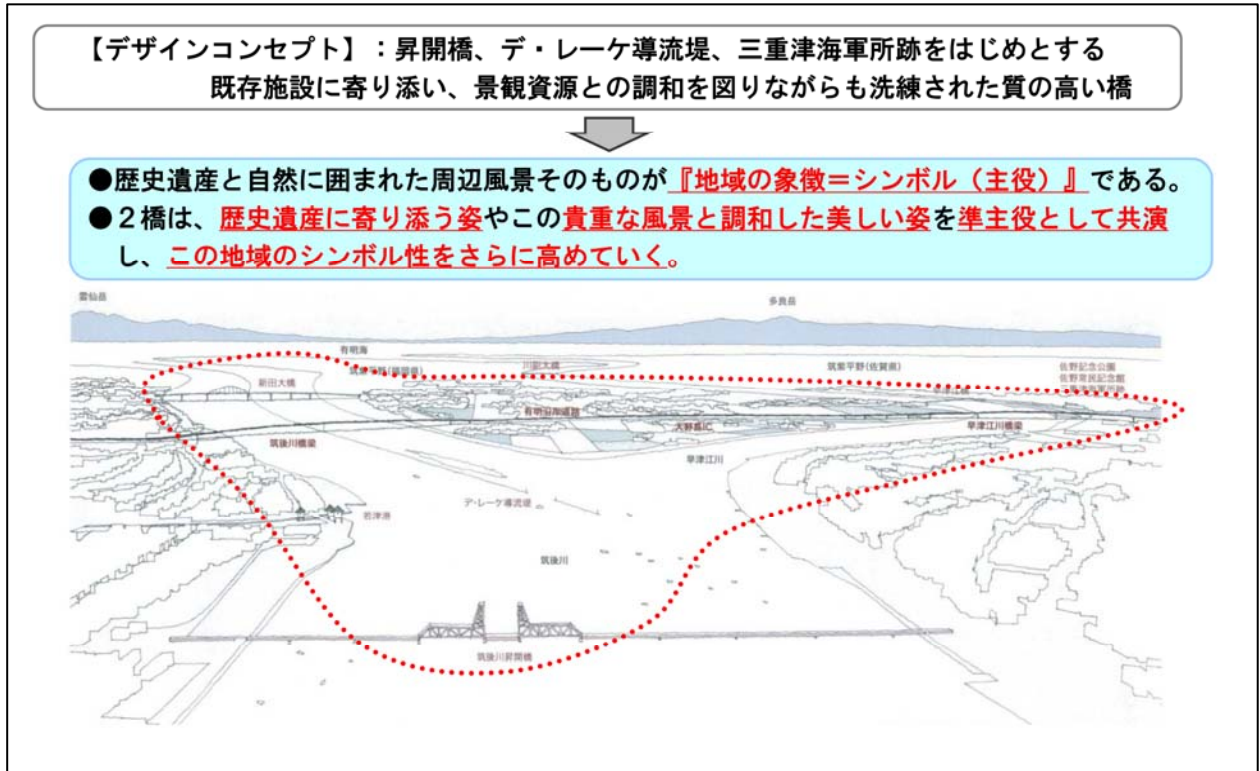
道路付属物(照明柱、標識柱、防護柵、落下物防止柵等)の設置にあたっては、周辺景観との調和を考え色彩を統一するように検討を行っている。



▲ 周辺景観との調和を考慮した防護柵（グレーベージュ）

◆周辺環境に配慮した早津江川橋梁の構造検討

早津江川橋梁の架橋地の周辺は広大な水平基調の田園・河口風景を有すること、デ・レーケ導流堤や三重津海軍所跡、昇開橋などの歴史遺産が点在すること等から、筑後川・早津江川橋梁設計委員会を設立し、筑後川橋梁と合わせて周辺環境と調和し安心して利用できる橋梁構造の検討を行っている。



資料：筑後川・早津江川橋梁設計検討委員会

▲ 筑後川橋梁・早津江川橋梁のデザインコンセプト



資料：筑後川・早津江川橋梁設計検討委員会

▲ 早津江川橋梁の推奨形状

4. 事業費の変動要因

○4車線整備の所要額【約149億円】

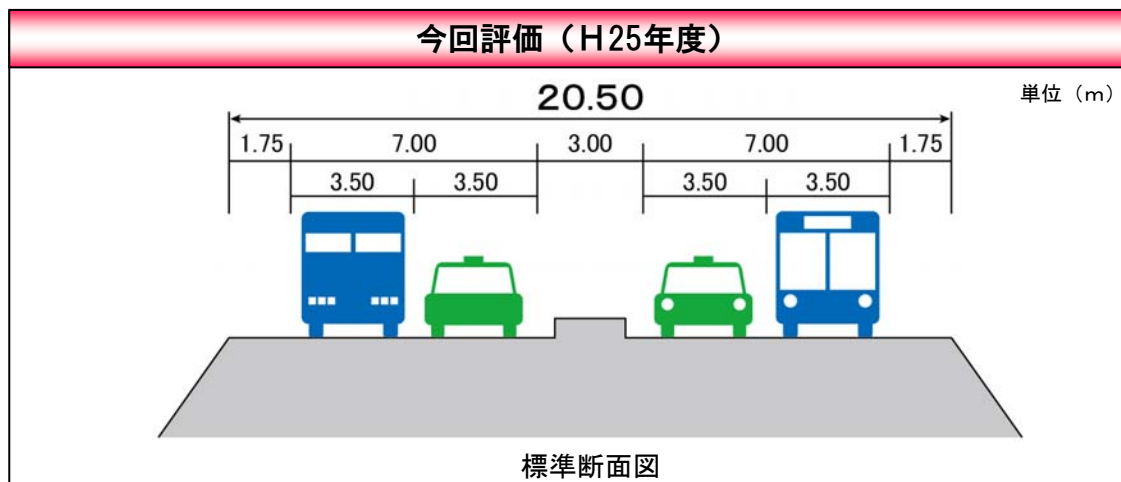
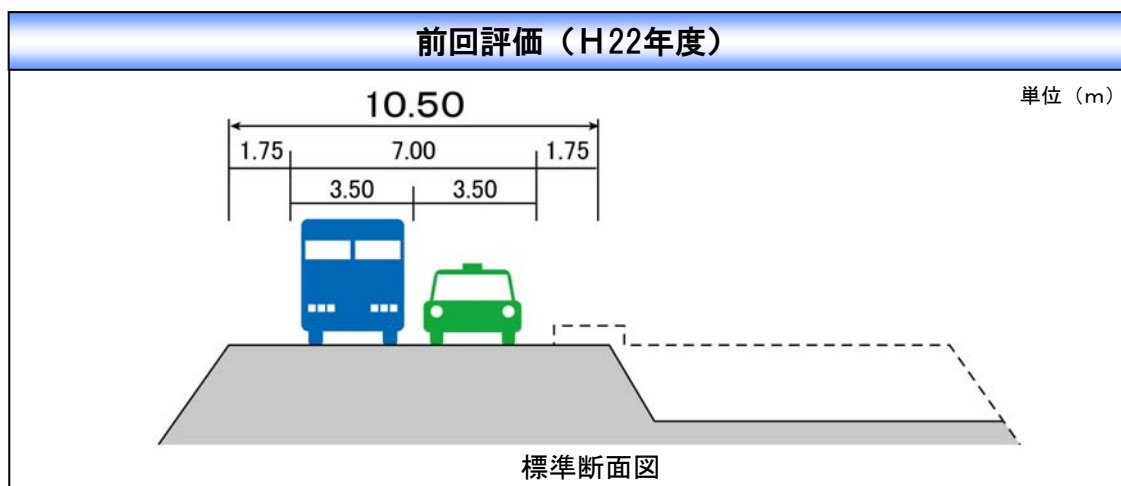
・ 前々回評価 (H17) : 4車線整備 (用地4車線) の事業費	約709億円
・ 前回評価 (H22) : 2車線整備 (用地4車線) の事業費	約560億円
・ 今回評価 (H25) : 4車線整備 (用地4車線) の事業費	約709億円

改 良 費 : 約 65 億円

橋 梁 ・ トンネル ・ IC 費 : 約 56 億円

そ の 他 工 事 費 : 約 28 億円

合 計 : 約 149 億円 (4車線整備の所要額)



5. コスト縮減や代替案立案等

○コスト縮減

事業実施にあたっては、新技術・新工法の積極的な活用及び建設副産物対策により、着実なコスト縮減に努める。

○代替案立案等

当該事業は、都市計画に基づいて整備しており、今後の事業計画における事業手法、施設規模について現在の計画が妥当である。

6. 対応方針（原案）

【 事業継続 】

○大川佐賀道路は、地域間の連携及び交流促進を支援する重要な道路である。また、国道208号等の交通混雑の緩和や交通安全性の向上を目的としている。

○費用対効果についても十分高い事業である。

○事業進捗率は、事業費ベースで約3%[約23億円/約709億円](平成24年度末)であるが、地域との合意も得られ、用地買収にも着手したところである。(用地進捗率約0.3%[約0.2億円/約64億円])

○なお、佐賀市・大川市が地元協議の連絡調整を行うなど、地元自治体等からの支援も頂いており、今後の円滑な事業執行が可能である。

○よって、当該事業の完成に向けて、事業を継続することとしたい。

卷 末 資 料

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	地球高規格道路 有明海沿岸道路 国道208号 大川佐賀道路
事業主体	九州地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

	指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率的性 ■ 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比 (B/C) = 2.8 (経済的純現在価値 (B-C) = 946億円、経済的內部収益率 (EIRR) = 11%) 残事業：費用便益比 (B/C) = 3.0 (経済的純現在価値 (B-C) = 977億円、経済的內部収益率 (EIRR) = 12%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率 □ 現道等における遅延時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される □ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上での踏切道の除却もしくは交通改善が期待される ■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する □ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる ■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる □ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる □ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上 □ 現道等における、総重量25tの車両もしくは180規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する 	<p>区間b (当該区間/並行区間) について：国道208号並行現道区間 (福岡県境～八戸交差点) 当該区間等の渋滞損失時間 (現状) : 126万人・時間/年 (国道208号) 当該区間等の渋滞損失削減率 : 5割削減 (国道208号)</p> <p>佐賀市営バス：1日51便の路線バスが運行</p> <p>鹿島市から有明佐賀空港へのアクセス向上が見込まれる (鹿島市⇒有明佐賀空港 [全事業・残事業]約7分短縮 [整備前55分⇒整備後51分] : 国道208号大川佐賀道路 [空港西IC (仮称)～佐賀市嘉瀬町])</p>
物流効率化の支援		

1. 活力	<p>都市の再生</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である <input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する <input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり <input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である <input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km²以下である市街地内での事業である <input type="checkbox"/> DID区域の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する <input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる <input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り <p>国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域高規格道路の位置づけあり <input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する <input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短时间内で連絡する路線を構成する <input type="checkbox"/> 環道等における交通不能区間を解消する <input type="checkbox"/> 環道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する ■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる <p>個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する <input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する ■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される <input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である <input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である <input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンポル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である 	<p>大川市から佐賀市へのアクセス向上が見込まれる(鹿島市⇒佐賀市【全事業・残事業】約1分短縮【整備前56分⇒整備後55分】；国道208号大川佐賀道路[東与賀10(仮称)～佐賀市嘉瀬町])</p> <p>佐賀県の中で年間観光客数が多い佐賀市(5,388千人)や鹿島市(3,255千人)へのアクセス向上</p> <p>大川市⇒佐賀県医療センター好生館【全事業・残事業】約15分短縮【整備前31分⇒整備後16分】；国道208号大川佐賀道路[大野島10～佐賀市嘉瀬町]</p>
2. 暮らし	<p>歩行者・自転車・自転車のための生活空間の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適性・安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> ハリアフリー新法に基づく特定道路が新たにハリアフリー化される <p>無電柱化による美しい町並みの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り <input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する <p>安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる 	<p>大川市⇒佐賀県医療センター好生館【全事業・残事業】約15分短縮【整備前31分⇒整備後16分】；国道208号大川佐賀道路[大野島10～佐賀市嘉瀬町]</p>

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間がある場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量が100人/日以上（当該区間が通学路である場合は40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量が500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭い区間に歩道が設置される <input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり <input type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する <input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A路線としての位置づけがある場合） <input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検必要対策箇所もしくは架設の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される <input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する <input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する <input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する <input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	国道208号：緊急輸送道路ネットワーク計画において、第一次緊急輸送道路に位置付けられている
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO ₂ 排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO _x 排出削減率 <input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率 <input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある <input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	CO ₂ 排出削減量：13,111t-CO ₂ /年（残事業） 13,111t-CO ₂ /年（全事業） 評価対象区間（現道等）：国道208号並行現道区間（福岡県境～八戸交差点） 排出削減量：15.2t-NO _x /年、排出削減率：約6割削減（残事業） 排出削減量：15.2t-NO _x /年、排出削減率：約6割削減（全事業） 評価対象区間（現道等）：国道208号並行現道区間（福岡県境～八戸交差点） 排出削減量：0.87t-SPM/年、排出削減率：約6割削減（残事業） 排出削減量：0.87t-SPM/年、排出削減率：約6割削減（全事業）
	生活環境の改善・保全		
5. その他	他のプロジェクトの関係	<input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要がある <input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている <input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	地域高規格道路[有明沿岸道路]のうち、大牟田～大川（L=27.5km）、佐賀福岡道路（L=10km）と関連

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
国道208号	大川佐賀道路	9.0 km	地域高規格	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
34,000~39,300	4	九州地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成25年度		
単純合計	678億円	65億円	742億円
うち残事業分	650億円	65億円	715億円
基準年における 現在価値 (C)	497億円	19億円	516億円
うち残事業分	466億円	19億円	485億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成25年度			
供用年	平成33年度			
単年便益 (初年便益)	8.6億円	2.1億円	0.75億円	11億円
基準年における 現在価値 (B)	1,156億円	202億円	103億円	1,462億円
うち残事業分	1,156億円	202億円	103億円	1,462億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	2.8
経済的純現在価値（事業全体）	946億円
経済的内部収益率（事業全体）	11%
費用便益比（残事業）	3.0
経済的純現在価値（残事業）	977億円
経済的内部収益率（残事業）	12%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（残事業を対象）

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	34,000～39,300	±10%	2.6 ～ 3.1
事業費	678億円	±10%	2.6 ～ 3.1
事業期間	29年	±20%	2.4 ～ 3.2

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	34,000～39,300	±10%	2.8 ～ 3.3
事業費	650億円	±10%	2.7 ～ 3.3
事業期間	16年	±20%	2.5 ～ 3.4

交通状況の変化

様式-3①

事業名：国道208号 大川佐賀道路

(推計時点 H42年) (事業全体・残事業)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 大川佐賀道路 【事業中区間】 9.0km	交通量	[台/日]	0.00	36,500	
	走行時間	[分]	0.00	6.8	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	46	
②主な周辺道路	現道(国道208号) : 10.1km	交通量	[台/日]	21,400	15,300
		走行時間	[分]	18	16
		走行時間費用	[億円/年]	65	41
	国道444号 : 20.9km	交通量	[台/日]	7,900	4,300
		走行時間	[分]	42	39
		走行時間費用	[億円/年]	58	29
	(主)佐賀外環状線 : 9.9km	交通量	[台/日]	11,700	3,200
		走行時間	[分]	20	17
		走行時間費用	[億円/年]	45	9.7
	国道207号 : 13.5km	交通量	[台/日]	14,900	13,400
		走行時間	[分]	32	26
		走行時間費用	[億円/年]	90	62
	(主)佐賀大川線 : 8.7km	交通量	[台/日]	6,500	3,000
		走行時間	[分]	21	18
		走行時間費用	[億円/年]	26	10
③その他道路合計 : 1767.6km	走行時間費用	[億円/年]	4,781	4,775	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1839.7km	走行時間短縮便益	[億円/年]	5,066	4,972	93

事業名：国道208号 大川佐賀道路



費用便益分析の条件

事業名：国道208号 大川佐賀道路

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成25年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/> ()
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
	無	<input checked="" type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載
	()台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
その他()	<input type="checkbox"/>	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載	交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量程度の路線などが混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>
	採用理由を記載	
その他()	<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数		() %	
	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載			
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	() 日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
	とり止め交通を考慮する		<input type="checkbox"/>	
	とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載			
冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数	() 日	
		採用した冬期日数の考え方を記載		
冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載				
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名：国道208号 大川佐賀道路

(4)

項目		チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他(概略事業計画による値を採用)	<input checked="" type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費(過去3年間：H22～H24)に基づく	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>
その他			
4. その他			

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 国道208号 大川佐賀道路(事業全体)

年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				単価(億円)		延長(km)	
				0.17	9.0	1.5	
-20年目	H 13	1.6010	105.7	0.48	0.66		
-19年目	H 14	1.5395	103.8	0.48	0.65		
-18年目	H 15	1.4802	102.3	0.48	0.63		
-17年目	H 16	1.4233	101.0	0.95	1.24		
-16年目	H 17	1.3686	99.6	1.43	1.81		
-15年目	H 18	1.3159	98.7	1.90	2.34		
-14年目	H 19	1.2653	97.6	2.38	2.84		
-13年目	H 20	1.2167	96.8	4.79	5.55		
-12年目	H 21	1.1699	95.6	2.54	2.87		
-11年目	H 22	1.1249	93.7	2.33	2.58		
-10年目	H 23	1.0816	92.1	1.29	1.39		
-9年目	H 24	1.0400	92.1	2.87	2.98		
-8年目	H 25	1.0000	92.1	5.80	5.80		
-7年目	H 26	0.9615	92.1	15.13	14.55		
-6年目	H 27	0.9246	92.1	16.94	15.66		
-5年目	H 28	0.8890	92.1	25.99	23.11		
-4年目	H 29	0.8548	92.1	32.64	27.90		
-3年目	H 30	0.8219	92.1	51.55	42.37		
-2年目	H 31	0.7903	92.1	63.21	49.96		
-1年目	H 32	0.7599	92.1	73.79	56.07		
供用開始年次	H 33	0.7307	92.1	70.90	51.81	0.15	0.11
1年目	H 34	0.7026	92.1	68.16	47.89	0.15	0.11
2年目	H 35	0.6756	92.1	47.33	31.98	0.49	0.33
3年目	H 36	0.6496	92.1	42.26	27.45	0.49	0.32
4年目	H 37	0.6246	92.1	28.57	17.85	1.08	0.67
5年目	H 38	0.6006	92.1	28.57	17.16	1.08	0.65
6年目	H 39	0.5775	92.1	28.57	16.50	1.08	0.62
7年目	H 40	0.5553	92.1	28.57	15.87	1.08	0.60
8年目	H 41	0.5339	92.1	27.60	14.74	1.08	0.57
9年目	H 42	0.5134	92.1			1.42	0.73
10年目	H 43	0.4936	92.1			1.42	0.70
11年目	H 44	0.4746	92.1			1.42	0.67
12年目	H 45	0.4564	92.1			1.42	0.65
13年目	H 46	0.4388	92.1			1.42	0.62
14年目	H 47	0.4220	92.1			1.42	0.60
15年目	H 48	0.4057	92.1			1.42	0.58
16年目	H 49	0.3901	92.1			1.42	0.55
17年目	H 50	0.3751	92.1			1.42	0.53
18年目	H 51	0.3607	92.1			1.42	0.51
19年目	H 52	0.3468	92.1			1.42	0.49
20年目	H 53	0.3335	92.1			1.42	0.47
21年目	H 54	0.3207	92.1			1.42	0.46
22年目	H 55	0.3083	92.1			1.42	0.44
23年目	H 56	0.2965	92.1			1.42	0.42
24年目	H 57	0.2851	92.1			1.42	0.40
25年目	H 58	0.2741	92.1			1.42	0.39
26年目	H 59	0.2636	92.1			1.42	0.37
27年目	H 60	0.2534	92.1			1.42	0.36
28年目	H 61	0.2437	92.1			1.42	0.35
29年目	H 62	0.2343	92.1			1.42	0.33
30年目	H 63	0.2253	92.1			1.42	0.32
31年目	H 64	0.2166	92.1			1.42	0.31
32年目	H 65	0.2083	92.1			1.42	0.30
33年目	H 66	0.2003	92.1			1.42	0.28
34年目	H 67	0.1926	92.1			1.42	0.27
35年目	H 68	0.1852	92.1			1.42	0.26
36年目	H 69	0.1780	92.1			1.42	0.25
37年目	H 70	0.1712	92.1			1.42	0.24
38年目	H 71	0.1646	92.1			1.42	0.23
39年目	H 72	0.1583	92.1			1.42	0.22
40年目	H 73	0.1522	92.1			1.42	0.22
41年目	H 74	0.1463	92.1			1.42	0.21
42年目	H 75	0.1407	92.1			1.42	0.20
43年目	H 76	0.1353	92.1			1.42	0.19
44年目	H 77	0.1301	92.1			1.42	0.18
45年目	H 78	0.1251	92.1			1.42	0.18
46年目	H 79	0.1203	92.1			1.42	0.17
47年目	H 80	0.1157	92.1			1.42	0.16
48年目	H 81	0.1112	92.1			1.42	0.16
49年目	H 82	0.1069	92.1	-47.10	-5.04	1.42	0.15
合計				630.40	497.15	64.85	19.13
単純事業費計				677.50		64.85	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
箇所名: 国道208号 大川佐賀道路(残事業)				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.17	9.0	1.5	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-7年目	H 26	0.9615	92.1	15.13	14.55		
-6年目	H 27	0.9246	92.1	16.94	15.66		
-5年目	H 28	0.8890	92.1	25.99	23.11		
-4年目	H 29	0.8548	92.1	32.64	27.90		
-3年目	H 30	0.8219	92.1	51.55	42.37		
-2年目	H 31	0.7903	92.1	63.21	49.96		
-1年目	H 32	0.7599	92.1	73.79	56.07		
供用開始年次	H 33	0.7307	92.1	70.90	51.81	0.15	0.11
1年目	H 34	0.7026	92.1	68.16	47.89	0.15	0.11
2年目	H 35	0.6756	92.1	47.33	31.98	0.49	0.33
3年目	H 36	0.6496	92.1	42.26	27.45	0.49	0.32
4年目	H 37	0.6246	92.1	28.57	17.85	1.08	0.67
5年目	H 38	0.6006	92.1	28.57	17.16	1.08	0.65
6年目	H 39	0.5775	92.1	28.57	16.50	1.08	0.62
7年目	H 40	0.5553	92.1	28.57	15.87	1.08	0.60
8年目	H 41	0.5339	92.1	27.60	14.74	1.08	0.57
9年目	H 42	0.5134	92.1			1.42	0.73
10年目	H 43	0.4936	92.1			1.42	0.70
11年目	H 44	0.4746	92.1			1.42	0.67
12年目	H 45	0.4564	92.1			1.42	0.65
13年目	H 46	0.4388	92.1			1.42	0.62
14年目	H 47	0.4220	92.1			1.42	0.60
15年目	H 48	0.4057	92.1			1.42	0.58
16年目	H 49	0.3901	92.1			1.42	0.55
17年目	H 50	0.3751	92.1			1.42	0.53
18年目	H 51	0.3607	92.1			1.42	0.51
19年目	H 52	0.3468	92.1			1.42	0.49
20年目	H 53	0.3335	92.1			1.42	0.47
21年目	H 54	0.3207	92.1			1.42	0.46
22年目	H 55	0.3083	92.1			1.42	0.44
23年目	H 56	0.2965	92.1			1.42	0.42
24年目	H 57	0.2851	92.1			1.42	0.40
25年目	H 58	0.2741	92.1			1.42	0.39
26年目	H 59	0.2636	92.1			1.42	0.37
27年目	H 60	0.2534	92.1			1.42	0.36
28年目	H 61	0.2437	92.1			1.42	0.35
29年目	H 62	0.2343	92.1			1.42	0.33
30年目	H 63	0.2253	92.1			1.42	0.32
31年目	H 64	0.2166	92.1			1.42	0.31
32年目	H 65	0.2083	92.1			1.42	0.30
33年目	H 66	0.2003	92.1			1.42	0.28
34年目	H 67	0.1926	92.1			1.42	0.27
35年目	H 68	0.1852	92.1			1.42	0.26
36年目	H 69	0.1780	92.1			1.42	0.25
37年目	H 70	0.1712	92.1			1.42	0.24
38年目	H 71	0.1646	92.1			1.42	0.23
39年目	H 72	0.1583	92.1			1.42	0.22
40年目	H 73	0.1522	92.1			1.42	0.22
41年目	H 74	0.1463	92.1			1.42	0.21
42年目	H 75	0.1407	92.1			1.42	0.20
43年目	H 76	0.1353	92.1			1.42	0.19
44年目	H 77	0.1301	92.1			1.42	0.18
45年目	H 78	0.1251	92.1			1.42	0.18
46年目	H 79	0.1203	92.1			1.42	0.17
47年目	H 80	0.1157	92.1			1.42	0.16
48年目	H 81	0.1112	92.1			1.42	0.16
49年目	H 82	0.1069	92.1	-45.13	-4.82	1.42	0.15
合計				604.65	466.02	64.85	19.13
単純事業費計				649.79		64.85	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算
 制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表 箇所名:国道208号 大川佐賀道路(事業全体・残事業)

年度 (暦年)	GDP ポールド	割引率 (A)	走行台車中の年次別伸び率 (北九州7区)			現在価値 ①×A	走行経費減少便益(億円)			現在価値 (A)×②	事故減少便益(億円) ③	現在価値 ③×A	合計 (総円) 現在価値 ①+②+③ 割引率4%
			乗用車種	小型貨物	普通貨物		乗用車種	小型貨物	普通貨物				
H25	0.99158	0.99707	0.99707	0.99707	0.99707	8.58	6.27	2.09	1.52	0.75	0.55	11.42	8.34
H26	0.99160	0.99706	0.99706	0.99706	0.99706	8.56	6.01	2.08	1.46	0.75	0.53	11.39	8.00
H27	0.99162	0.99705	0.99705	0.99705	0.99705	8.54	5.74	2.07	1.35	0.74	0.51	11.36	7.66
H28	0.99164	0.99704	0.99704	0.99704	0.99704	8.52	5.47	2.06	1.24	0.73	0.49	11.33	7.32
H29	0.99166	0.99703	0.99703	0.99703	0.99703	8.50	5.20	2.05	1.13	0.72	0.47	11.30	6.98
H30	0.99168	0.99702	0.99702	0.99702	0.99702	8.48	4.93	2.04	1.02	0.71	0.45	11.27	6.64
H31	0.99170	0.99701	0.99701	0.99701	0.99701	8.46	4.66	2.03	0.91	0.70	0.43	11.24	6.30
H32	0.99172	0.99700	0.99700	0.99700	0.99700	8.44	4.39	2.02	0.80	0.69	0.41	11.21	5.96
H33	0.99174	0.99699	0.99699	0.99699	0.99699	8.42	4.12	2.01	0.69	0.68	0.39	11.18	5.62
H34	0.99176	0.99698	0.99698	0.99698	0.99698	8.40	3.85	2.00	0.58	0.67	0.37	11.15	5.28
H35	0.99178	0.99697	0.99697	0.99697	0.99697	8.38	3.58	1.99	0.47	0.66	0.35	11.12	4.94
H36	0.99180	0.99696	0.99696	0.99696	0.99696	8.36	3.31	1.98	0.36	0.65	0.33	11.09	4.60
H37	0.99182	0.99695	0.99695	0.99695	0.99695	8.34	3.04	1.97	0.25	0.64	0.31	11.06	4.26
H38	0.99184	0.99694	0.99694	0.99694	0.99694	8.32	2.77	1.96	0.14	0.63	0.29	11.03	3.92
H39	0.99186	0.99693	0.99693	0.99693	0.99693	8.30	2.50	1.95	0.03	0.62	0.27	11.00	3.58
H40	0.99188	0.99692	0.99692	0.99692	0.99692	8.28	2.23	1.94	-0.08	0.61	0.25	10.97	3.24
H41	0.99190	0.99691	0.99691	0.99691	0.99691	8.26	1.96	1.93	-0.19	0.60	0.23	10.94	2.90
H42	0.99192	0.99690	0.99690	0.99690	0.99690	8.24	1.69	1.92	-0.30	0.59	0.21	10.91	2.56
H43	0.99194	0.99689	0.99689	0.99689	0.99689	8.22	1.42	1.91	-0.41	0.58	0.19	10.88	2.22
H44	0.99196	0.99688	0.99688	0.99688	0.99688	8.20	1.15	1.90	-0.52	0.57	0.17	10.85	1.88
H45	0.99198	0.99687	0.99687	0.99687	0.99687	8.18	0.88	1.89	-0.63	0.56	0.15	10.82	1.54
H46	0.99200	0.99686	0.99686	0.99686	0.99686	8.16	0.61	1.88	-0.74	0.55	0.13	10.79	1.20
H47	0.99202	0.99685	0.99685	0.99685	0.99685	8.14	0.34	1.87	-0.85	0.54	0.11	10.76	0.86
H48	0.99204	0.99684	0.99684	0.99684	0.99684	8.12	0.07	1.86	-0.96	0.53	0.09	10.73	0.52
H49	0.99206	0.99683	0.99683	0.99683	0.99683	8.10	-0.20	1.85	-1.07	0.52	0.07	10.70	0.18
H50	0.99208	0.99682	0.99682	0.99682	0.99682	8.08	-0.47	1.84	-1.18	0.51	0.05	10.67	-0.16
H51	0.99210	0.99681	0.99681	0.99681	0.99681	8.06	-0.74	1.83	-1.29	0.50	0.03	10.64	-0.50
H52	0.99212	0.99680	0.99680	0.99680	0.99680	8.04	-1.01	1.82	-1.40	0.49	0.01	10.61	-0.84
H53	0.99214	0.99679	0.99679	0.99679	0.99679	8.02	-1.28	1.81	-1.51	0.48	-0.01	10.58	-1.18
H54	0.99216	0.99678	0.99678	0.99678	0.99678	8.00	-1.55	1.80	-1.62	0.47	-0.03	10.55	-1.52
H55	0.99218	0.99677	0.99677	0.99677	0.99677	7.98	-1.82	1.79	-1.73	0.46	-0.05	10.52	-1.86
H56	0.99220	0.99676	0.99676	0.99676	0.99676	7.96	-2.09	1.78	-1.84	0.45	-0.07	10.49	-2.20
H57	0.99222	0.99675	0.99675	0.99675	0.99675	7.94	-2.36	1.77	-1.95	0.44	-0.09	10.46	-2.54
H58	0.99224	0.99674	0.99674	0.99674	0.99674	7.92	-2.63	1.76	-2.06	0.43	-0.11	10.43	-2.88
H59	0.99226	0.99673	0.99673	0.99673	0.99673	7.90	-2.90	1.75	-2.17	0.42	-0.13	10.40	-3.22
H60	0.99228	0.99672	0.99672	0.99672	0.99672	7.88	-3.17	1.74	-2.28	0.41	-0.15	10.37	-3.56
H61	0.99230	0.99671	0.99671	0.99671	0.99671	7.86	-3.44	1.73	-2.39	0.40	-0.17	10.34	-3.90
H62	0.99232	0.99670	0.99670	0.99670	0.99670	7.84	-3.71	1.72	-2.50	0.39	-0.19	10.31	-4.24
H63	0.99234	0.99669	0.99669	0.99669	0.99669	7.82	-3.98	1.71	-2.61	0.38	-0.21	10.28	-4.58
H64	0.99236	0.99668	0.99668	0.99668	0.99668	7.80	-4.25	1.70	-2.72	0.37	-0.23	10.25	-4.92
H65	0.99238	0.99667	0.99667	0.99667	0.99667	7.78	-4.52	1.69	-2.83	0.36	-0.25	10.22	-5.26
H66	0.99240	0.99666	0.99666	0.99666	0.99666	7.76	-4.79	1.68	-2.94	0.35	-0.27	10.19	-5.60
H67	0.99242	0.99665	0.99665	0.99665	0.99665	7.74	-5.06	1.67	-3.05	0.34	-0.29	10.16	-5.94
H68	0.99244	0.99664	0.99664	0.99664	0.99664	7.72	-5.33	1.66	-3.16	0.33	-0.31	10.13	-6.28
H69	0.99246	0.99663	0.99663	0.99663	0.99663	7.70	-5.60	1.65	-3.27	0.32	-0.33	10.10	-6.62
H70	0.99248	0.99662	0.99662	0.99662	0.99662	7.68	-5.87	1.64	-3.38	0.31	-0.35	10.07	-6.96
H71	0.99250	0.99661	0.99661	0.99661	0.99661	7.66	-6.14	1.63	-3.49	0.30	-0.37	10.04	-7.30
H72	0.99252	0.99660	0.99660	0.99660	0.99660	7.64	-6.41	1.62	-3.60	0.29	-0.39	10.01	-7.64
H73	0.99254	0.99659	0.99659	0.99659	0.99659	7.62	-6.68	1.61	-3.71	0.28	-0.41	9.98	-7.98
H74	0.99256	0.99658	0.99658	0.99658	0.99658	7.60	-6.95	1.60	-3.82	0.27	-0.43	9.95	-8.32
H75	0.99258	0.99657	0.99657	0.99657	0.99657	7.58	-7.22	1.59	-3.93	0.26	-0.45	9.92	-8.66
H76	0.99260	0.99656	0.99656	0.99656	0.99656	7.56	-7.49	1.58	-4.04	0.25	-0.47	9.89	-9.00
H77	0.99262	0.99655	0.99655	0.99655	0.99655	7.54	-7.76	1.57	-4.15	0.24	-0.49	9.86	-9.34
H78	0.99264	0.99654	0.99654	0.99654	0.99654	7.52	-8.03	1.56	-4.26	0.23	-0.51	9.83	-9.68
H79	0.99266	0.99653	0.99653	0.99653	0.99653	7.50	-8.30	1.55	-4.37	0.22	-0.53	9.80	-10.02
H80	0.99268	0.99652	0.99652	0.99652	0.99652	7.48	-8.57	1.54	-4.48	0.21	-0.55	9.77	-10.36
H81	0.99270	0.99651	0.99651	0.99651	0.99651	7.46	-8.84	1.53	-4.59	0.20	-0.57	9.74	-10.70
H82	0.99272	0.99650	0.99650	0.99650	0.99650	7.44	-9.11	1.52	-4.70	0.19	-0.59	9.71	-11.04
H83	0.99274	0.99649	0.99649	0.99649	0.99649	7.42	-9.38	1.51	-4.81	0.18	-0.61	9.68	-11.38
H84	0.99276	0.99648	0.99648	0.99648	0.99648	7.40	-9.65	1.50	-4.92	0.17	-0.63	9.65	-11.72
H85	0.99278	0.99647	0.99647	0.99647	0.99647	7.38	-9.92	1.49	-5.03	0.16	-0.65	9.62	-12.06
H86	0.99280	0.99646	0.99646	0.99646	0.99646	7.36	-10.19	1.48	-5.14	0.15	-0.67	9.59	-12.40
H87	0.99282	0.99645	0.99645	0.99645	0.99645	7.34	-10.46	1.47	-5.25	0.14	-0.69	9.56	-12.74
H88	0.99284	0.99644	0.99644	0.99644	0.99644	7.32	-10.73	1.46	-5.36	0.13	-0.71	9.53	-13.08
H89	0.99286	0.99643	0.99643	0.99643	0.99643	7.30	-11.00	1.45	-5.47	0.12	-0.73	9.50	-13.42
H90	0.99288	0.99642	0.99642	0.99642	0.99642	7.28	-11.27	1.44	-5.58	0.11	-0.75	9.47	-13.76
H91	0.99290	0.99641	0.99641	0.99641	0.99641	7.26	-11.54	1.43	-5.69	0.10	-0.77	9.44	-14.10
H92	0.99292	0.99640	0.99640	0.99640	0.99640	7.24	-11.81	1.42	-5.80	0.09	-0.79	9.41	-14.44
H93	0.99294	0.99639	0.99639	0.99639	0.99639	7.22	-12.08	1.41	-5.91	0.08	-0.81	9.38	-14.78
H94	0.99296	0.99638	0.99638	0.99638	0.99638	7.20	-12.35	1.40	-6.02	0.07	-0.83	9.35	-15.12
H95	0.99298	0.99637	0.99637	0.99637	0.99637	7.18	-12.62	1.39	-6.13	0.06	-0.85	9.32	-15.46
H96	0.99300	0.99636	0.99636	0.99636	0.99636	7.16	-12.89	1.38	-6.24	0.05	-0.87	9.29	-15.80
H97	0.99302	0.99635	0.99635	0.99635	0.99635	7.14	-13.16	1.37	-6.35	0.04	-0.89	9.26	-16.14
H98	0.99304	0.99634	0.99634	0.99634	0.99634	7.12	-13.43	1.36	-6.46	0.03	-0.91	9.23	-16.48
H99	0.99306	0.99633	0.99633	0.99633	0.99633	7.10	-13.70	1.35	-6.57	0.02	-0.93	9.20	-16.82
H100	0.99308	0.99632	0.99632	0.99632	0.99632	7.08	-13.97	1.34	-6.68	0.01	-0.95	9.17	-17.16
H101	0.99310	0.99631	0.99631	0.99631	0.99631	7.06	-14.24	1.33	-6.79	0.00	-0.97	9.14	-17.50
H102	0.99312	0.99630	0.99630	0.99630	0.99630	7.04	-14.51	1.32	-6.90	-0.01	-0.99	9.11	-17.84
H103	0.99314	0.99629	0.99629	0.99629	0.99629	7.02	-14.78	1.31	-7.01	-0.02	-1.01	9.08	-18.18
H104	0.99316	0.99628	0.99628	0.99628	0.99628	7.00	-15.05	1.30	-7.12	-0.03	-1.03	9.05	-18.52
H105	0.99318	0.99627	0.99627	0.99627	0.99627	6.98	-15.32	1.29	-7.23	-0.04	-1.05	9.02	-18.86
H106	0.99320	0.99626	0.99626	0.99626	0.99626	6.96	-15.59	1.28	-7.34	-0.05	-1.07	8.99	-19.20
H107	0.99322												

全体事業費内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
国道208号	大川佐賀道路	4	9.0km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考	
①工事費					53,859		
改良費					32,492		
			土工	m ³	1,277,678	盛土(1,277,678m ³)	
			軟弱地盤改良工	m ³	314,649		
			法面工	m ²	119,926	盛土法面	
			擁壁工	式	1		
			管渠工	m			
			函渠工	m	1,702		
			排水工	m	9,010		
			中央分離帯工	m	7,490		
			雑工	式	1		
橋梁費					14,124		
			100m以上	m	1,060	鋼アーチ橋1橋、PC橋3橋	
			100m未満	m	155	PC橋3橋	
トンネル費							
			NATM	m			
			シールド	m			
IC・JCT費					5,264		
			IC	箇所	6	ダイヤモンド型(フル:3箇所、ハーフ:3箇所)	
			JCT	箇所			
舗装費					1,368		
			車道舗装	m ²	138,565		
			歩道舗装	m ²			
付帯施設費					611		
			交通管理施設工	式	1	標識工、防護柵工等	
			遮音壁	m			
②用地及補償費					6,353		
用地費			m ²		4,710		
宅地			m ²	31,408	628		
田畑			m ²	331,887	3,980		
山林・原野			m ²	8,685	102		
その他			m ²				
補償費			式	1	1,643		
③間接経費				式	1	10,657	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費等
全体事業費					70,869		

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

残事業費内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
国道208号	大川佐賀道路	4	9.0km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考	
①工事費	改良費				53,859		
	改良費				32,492		
		土工	㎡	1,277,678	4,800	盛土(1,277,678㎡)	
		軟弱地盤改良工	㎡	314,649	25,057		
		法面工	㎡	119,926	33	盛土法面	
		擁壁工	式	1			
		管渠工	m				
		函渠工	m		1,702		
		排水工	m	9,010	530		
		中央分離帯工	m	7,490	302		
		雑工	式	1	68		
		橋梁費				14,124	
		100m以上	m	1,060	12,322	鋼アーチ橋1橋、PC橋3橋	
		100m未満	m	155	1,802	PC橋3橋	
		トンネル費					
		NATM	m				
		シールド	m				
		IC・JCT費				5,264	
		IC	箇所	6	5,264	ダイヤモンド型(フル:3箇所、ハーフ:3箇所)	
		JCT	箇所				
		舗装費				1,368	
	車道舗装	㎡	138,565	1,368			
	歩道舗装	㎡					
	付帯施設費				611		
	交通管理施設工	式	1	611	標識工、防護柵工等		
	遮音壁	m					
②用地及補償費	用地費		㎡		4,513		
	宅地	㎡	30,067	601			
	田畑	㎡	317,726	3,810			
	山林・原野	㎡	8,685	102			
	その他	㎡					
	補償費	式	1	1,567			
③間接経費		式	1	8,032	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費等		
残事業費					67,971		

【単価等について】

- 工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用
- 用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業における維持管理費の内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
国道208号	大川佐賀道路	4	9.0km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	9.0	1,326	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	5,486	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			6,812	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

残事業における維持管理費の内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
国道208号	大川佐賀道路	4	9.0km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	9.0	1,326	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	5,486	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			6,812	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。